

# 立川市ヤングケアラー実態調査 報告書

令和7年7月実施分

令和8年3月

立川市福祉部地域福祉課

## 目次

第1章 本調査の概要	4
(1) はじめに	5
(2) 本調査の概要	5
(3) 集計・分析に関する留意点	6
第2章 調査結果	7
1 回収状況	8
2 単純集計結果	9
(1) 基本属性	9
① 性別	9
② 学年	9
③ 健康状態	10
(2) 普段の生活について	11
① 学校への通学状況(出欠)	11
② 学校への通学状況(遅刻や早退)	12
③ 部活動やクラブ活動、塾や習い事への参加状況	12
④ 普段の生活であてはまること	13
⑤ 現在、悩んだり困っていることの有無	15
⑥ 現在、悩んだり困っていること	16
(3) 家族や家庭のことについて	18
① お世話をしている家族の有無	18
② お世話をしている家族の続柄	19
③ お世話を必要としている家族の状況	20
④ 行っているお世話の内容	21
⑤ 本人以外に家族のお世話をしている人の有無	22
⑥ 本人以外にお世話をしている人の属性	23
⑦ お世話を始めた年齢	24
⑧ お世話をしている頻度	25
⑨ 一日あたりお世話に費やす時間(平日)	25
⑩ 一日あたりお世話に費やす時間(平日以外)	26
⑪ お世話をしているためにできないことの有無	27
⑫ お世話をしていることでどのようなことができなかつたか	28
⑬ お世話をすることで感じている大変さ	29
⑭ お世話を必要としている家族のことや、お世話の悩みを相談した経験の有無	30
⑮ お世話を必要としている家族のことや、お世話の悩みを相談した相手	31

⑩相談していない理由 .....	32
⑪学校や周りの大人に助けてほしいことや、必要としている支援はあるか ...	33
⑫学校や周りの大人に助けてほしいことや、必要としている支援は何か.....	34
⑬話や相談をしたい方法 .....	35
(4) ヤングケアラーについて .....	36
①ヤングケアラーという言葉と内容に対する認知状況 .....	36
②ヤングケアラーの自己認識 .....	37
3. クロス集計結果 .....	38
(1) 家族のお世話の有無による差 .....	38
①家族のお世話の有無×健康状態 .....	38
②家族のお世話の有無×学校への通学状況(出欠) .....	38
③家族のお世話の有無×学校への通学状況(遅刻や早退) .....	39
④家族のお世話の有無×部活動やクラブ活動、塾や習い事への参加状況 ...	39
⑤家族のお世話の有無×普段の生活であてはまること .....	40
⑥家族のお世話の有無×現在、悩んだり困っていることの有無 .....	41
⑦家族のお世話の有無×現在、悩んだり困っていること .....	42
⑧家族のお世話の有無×学校や周りの大人に助けてほしいこと・支援の有無.....	43
⑨家族のお世話の有無×学校や周りの大人に助けてほしいこと・支援 .....	44
⑩家族のお世話の有無×相談方法 .....	45
⑪家族のお世話の有無×ヤングケアラーの認知度 .....	45
⑫家族のお世話の有無×ヤングケアラーの自己認識 .....	46
4. 前年度との比較 .....	47
(1) 回収率 .....	47
(2) お世話をしている家族の有無 .....	47
(3) お世話を必要としている家族のことや、お世話の悩みを相談した経験の有無.....	48
(4) お世話を必要としている家族のことや、お世話の悩みを相談した相手.....	49
(5) 学校や周りの大人に助けてほしいことや、必要としている支援は何か .....	51
(6) ヤングケアラーという言葉と内容に対する認知状況 .....	53
5. 自由記述 .....	54
(1) カテゴリー分類について .....	54
(2) 自由記述意見のカテゴリー別回答内容 .....	56
第3章 分析 .....	61

(1) 実態把握分析 .....	62
(2) 自己認識と認知度分析 .....	62
(3) お世話の影響分析 .....	62
(4) 支援ニーズ分析 .....	63
(5) 前年度との比較 .....	63
第4章 質問項目 .....	64
(1) 小学生向け質問項目 .....	65
(2) 中学生向け質問項目 .....	73

# 第1章

## 本調査の概要

## (1) はじめに

本アンケートは、立川市内の市立小学校5年生から6年生までの児童および市立中学校全生徒を対象に実施し、学校や家庭生活の中で抱える悩みや困りごとなどを調査するとともに、家族のお世話を担っている小中学生の状況を把握し、その結果をヤングケアラーに必要な支援策を検討する上での参考とすることを目的としている。また、本アンケートは毎年実施し、経年変化をみていくことで施策の有効性などの分析を行う。

## (2) 本調査の概要

目的	ヤングケアラーと思われる子どもの家族へのお世話の状況と学校や家庭生活の中で抱える悩みや困りごとなどを把握することで、その解決に必要な支援策を検討するため、本アンケート調査を実施。
対象者	市立小中学生の小学5年生から中学3年生までのすべての児童・生徒
調査方法	各学校を通じて保護者及び児童・生徒向けに調査回答フォームのQRコードを記載した調査依頼文を配布し、児童・生徒本人が学校配布のタブレットからインターネットフォームにアクセスし回答。
調査項目	市内のヤングケアラーの状況と課題を把握するために、本市で検討を行い、設問を設定。
調査期間	令和7年7月3日(木)から7月18日(金)まで

### (3) 集計・分析に関する留意点

- 回答結果の割合(%)は有効サンプル数に対し各回答数の割合を小数点第2位で四捨五入しているため、単数回答(複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ)であっても合計が100%にならない場合がある。
- 複数回答(2つ以上選択肢を選択できる質問)の場合、回答は選択肢ごとに有効回答数に対してそれぞれ割合を示しているため、合計が100%を超える場合がある。
- 図表内の「n=」はその設問について集計対象件数を示している。
- 集計サンプル数が少ない属性項目については1サンプル当たりの重みが大きく比率が変動しやすいため利用には注意を要する。
- 自由記述による回答の集計・分析にあたっては、個人の特定につながる情報(人名、固有名詞等)をすべて削除したうえで図表の作成及び回答例の掲載を行っている。
- 「お世話」とは本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などをすることを示す。
- お世話をしている家族が『いる』と回答した児童・生徒が必ずしもヤングケアラーに該当するとは限らない。

## 第2章

### 調査結果

## 1. 回収状況

### ①全体

児童・生徒調査の回収総数は4,185件。

### ②内訳

(件)

調査対象	配布総数	回収総数	回収率
小学生	2,923	1,711	58.5%
中学生	3,798	2,474	65.1%
合計	6,721	4,185	62.3%

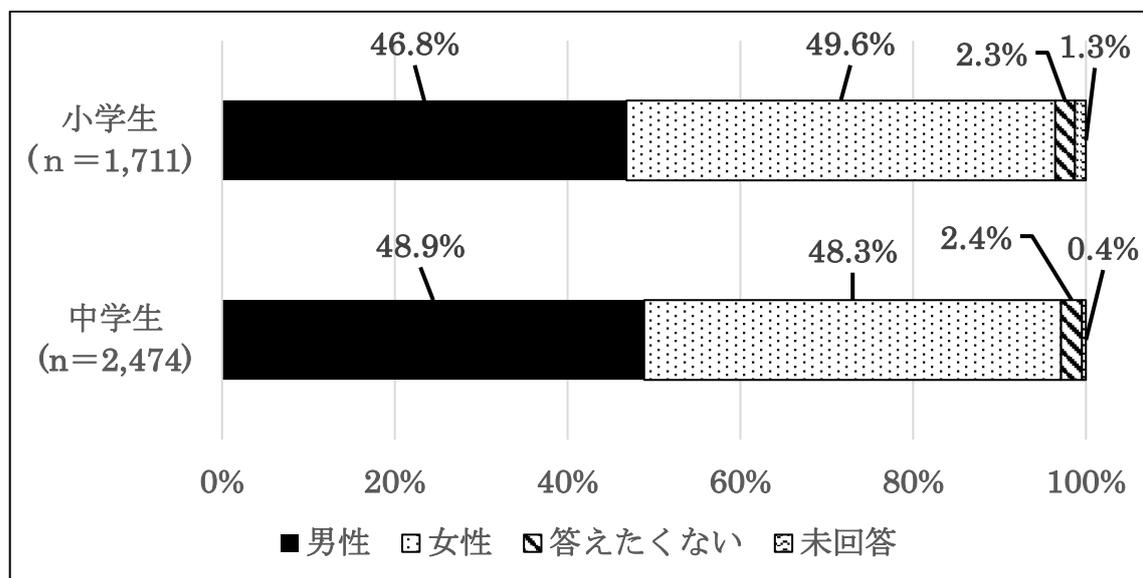
※配布総数：小学生5、6年生・中学生1～3年生は各学校在籍者数(令和7年6月1日現在)

※回収方法：ウェブ回答

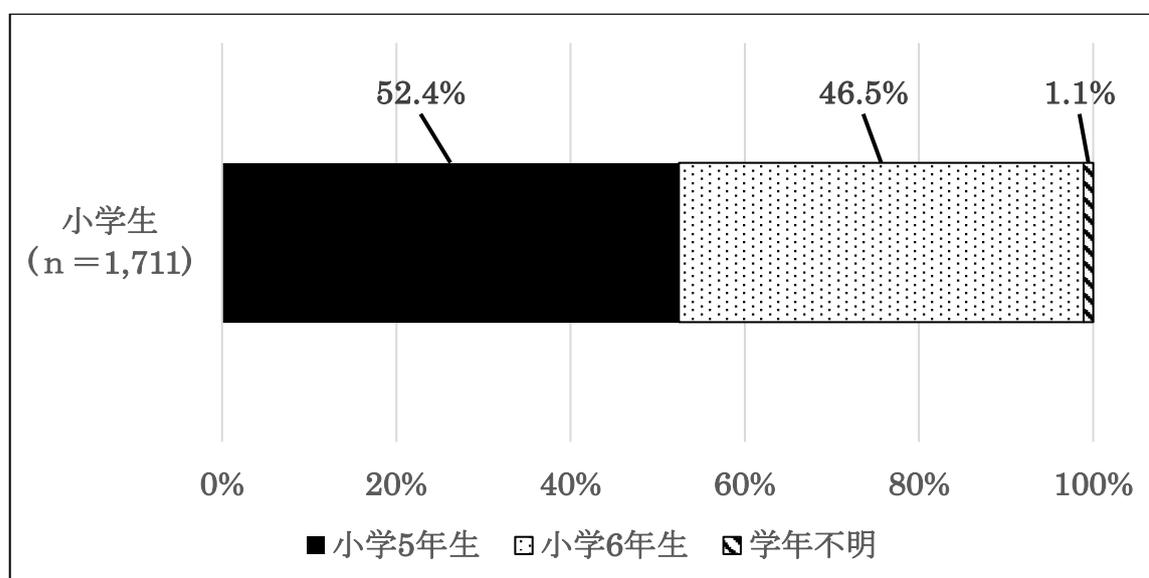
## 2. 単純集計結果

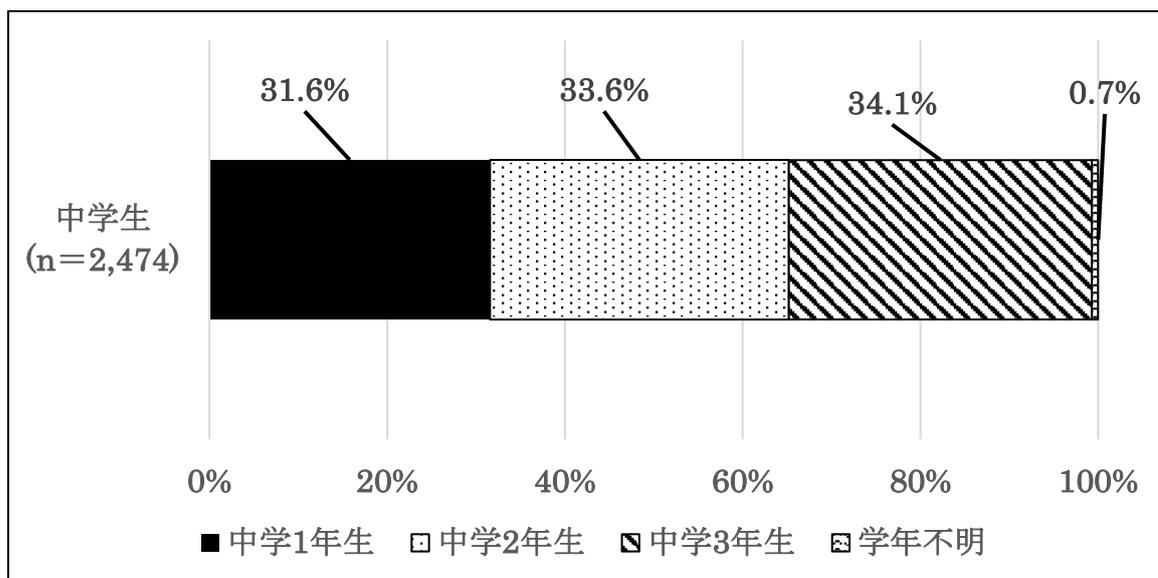
### (1) 基本属性

#### ① 性別

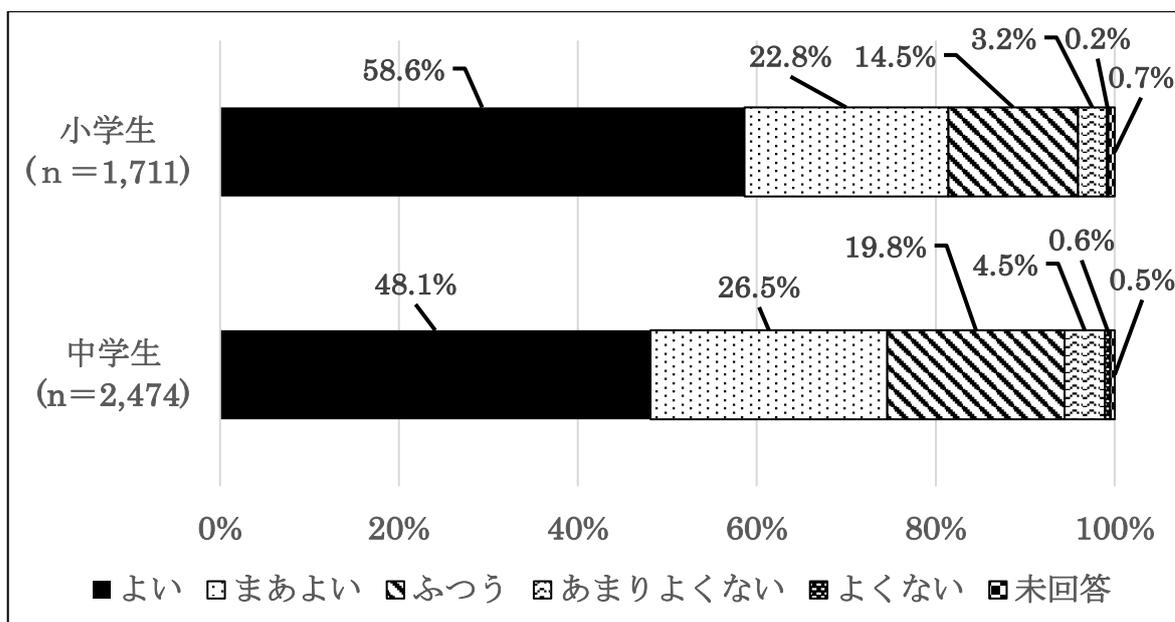


#### ② 学年





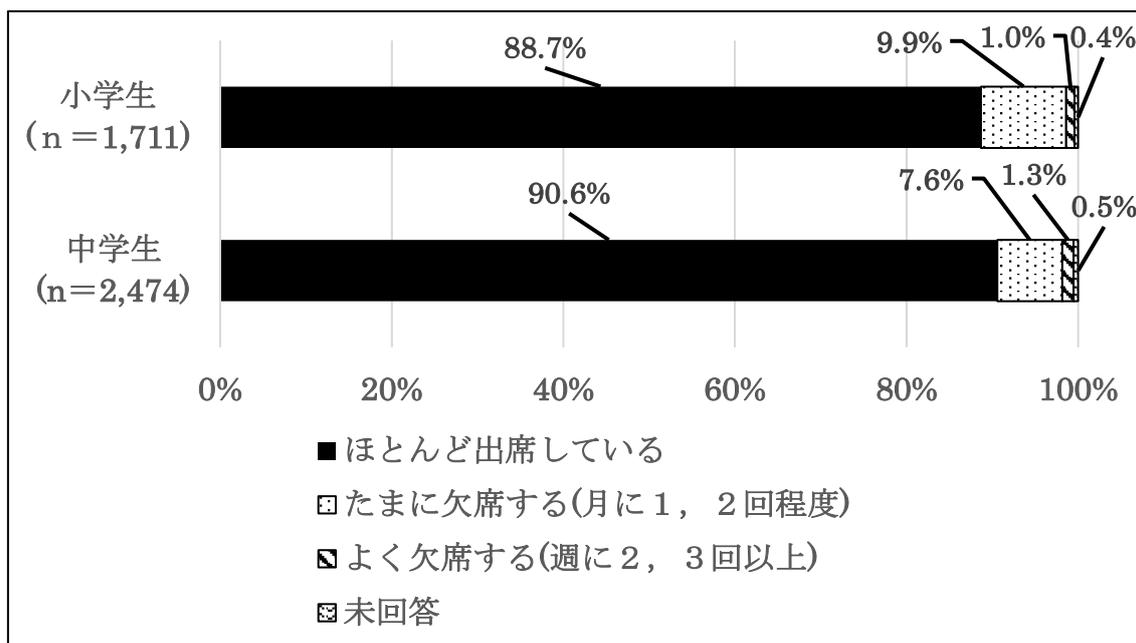
③健康状態



## (2) 普段の生活について

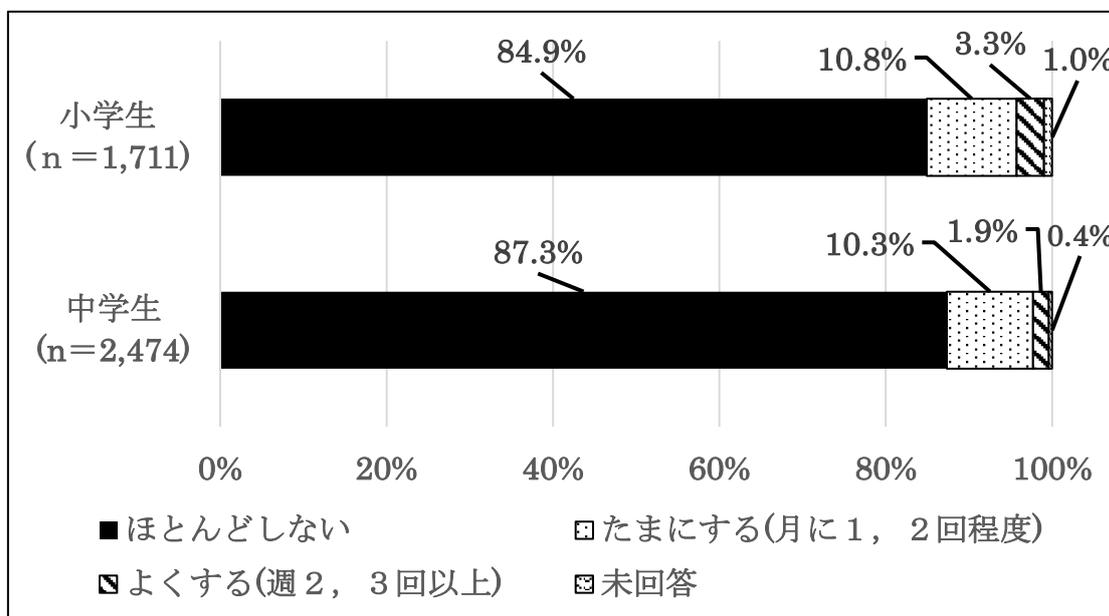
### ①学校への通学状況(出欠)

学校への通学状況(出欠)については、小学生(88.7%)・中学生(90.6%)と「ほとんど出席している」が最も高くなっている。「ほとんど出席している」と「たまに欠席する」の回答割合を足すと小中学生ともに約98%となるため、多くが欠席することなく、出席している。



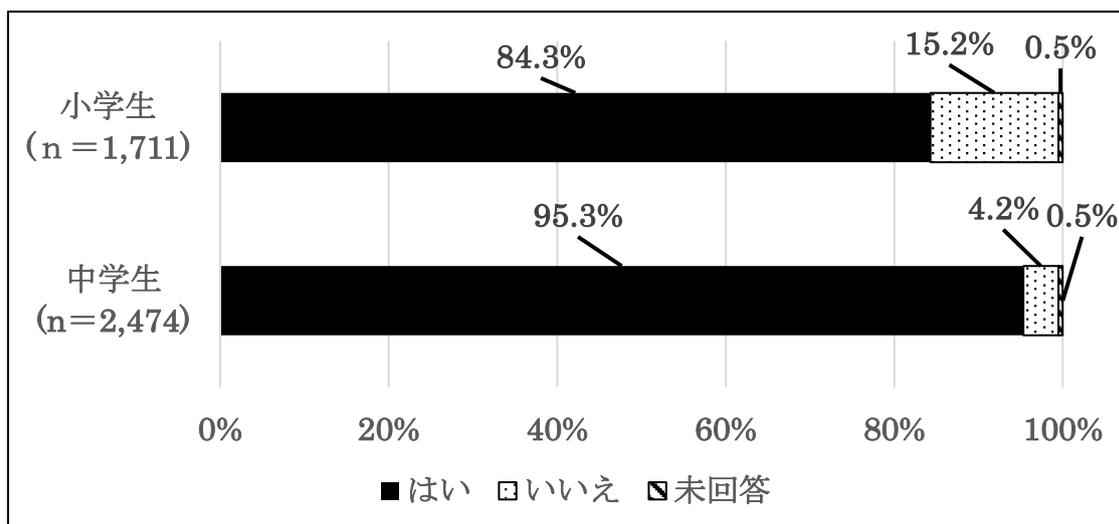
②学校への通学状況(遅刻や早退)

学校への通学状況(遅刻や早退)については、小学生(84.9%)・中学生(87.3%)と「ほとんどしない」が最も高くなっている。



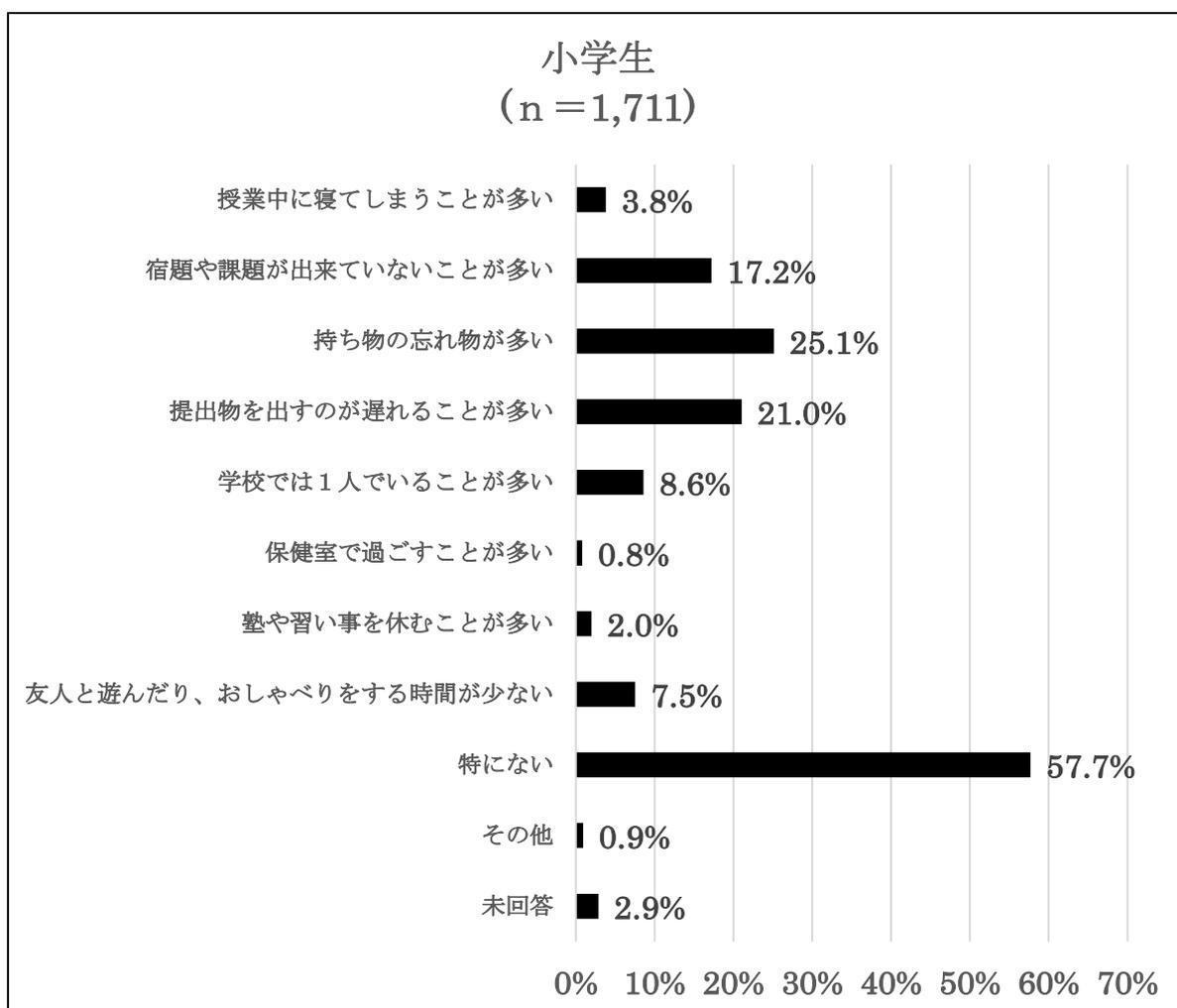
③部活動やクラブ活動、塾や習い事への参加状況

部活動やクラブ活動、塾や習い事への参加状況については、小学生(84.3%)・中学生(95.3%)が「はい」と回答している。

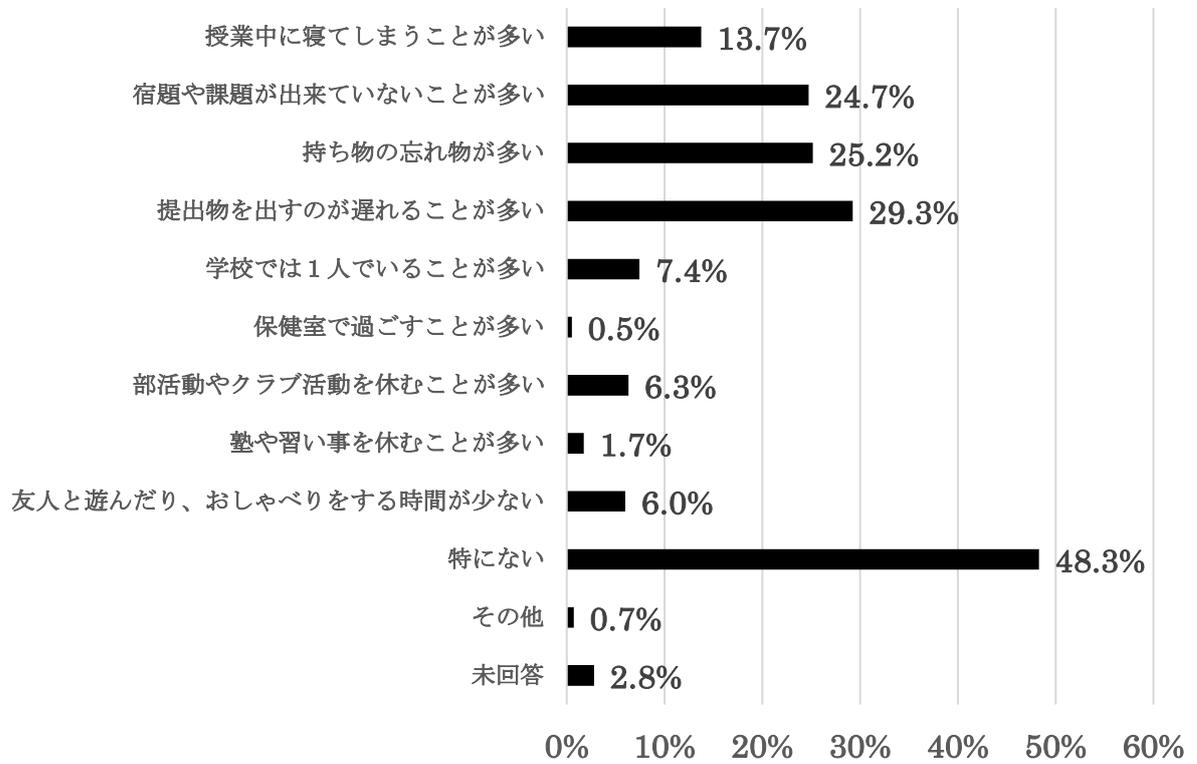


#### ④ 普段の生活であてはまること

普段の学校生活であてはまることを複数回答で聞いたところ、「特にない」が小学生(57.7%)・中学生(48.3%)と最も高くなっている。続いて小学生では、「持ち物の忘れ物が多い」(25.1%)、「提出物を出すのが遅れることが多い」(21.0%)、「宿題や課題が出来ていないことが多い」(17.2%)の順番になっている。中学生では、「提出物を出すのが遅れることが多い」(29.3%)、「持ち物の忘れ物が多い」(25.2%)、「宿題や課題が出来ていないことが多い」(24.7%)の順番になっている。

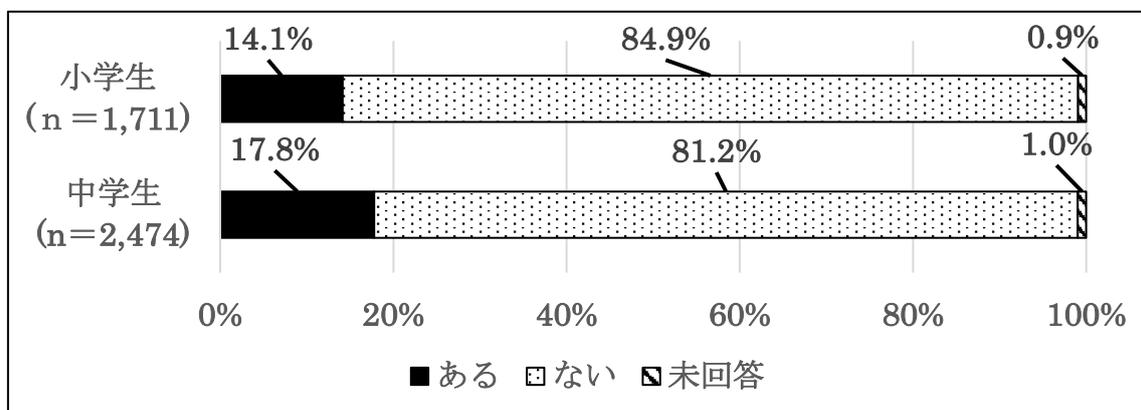


中学生  
(n=2,474)



⑤現在、悩んだり困っていることの有無

現在、悩んだり困っていることの有無については、「ある」が小学生（14.1%）・中学生（17.8%）となっている。



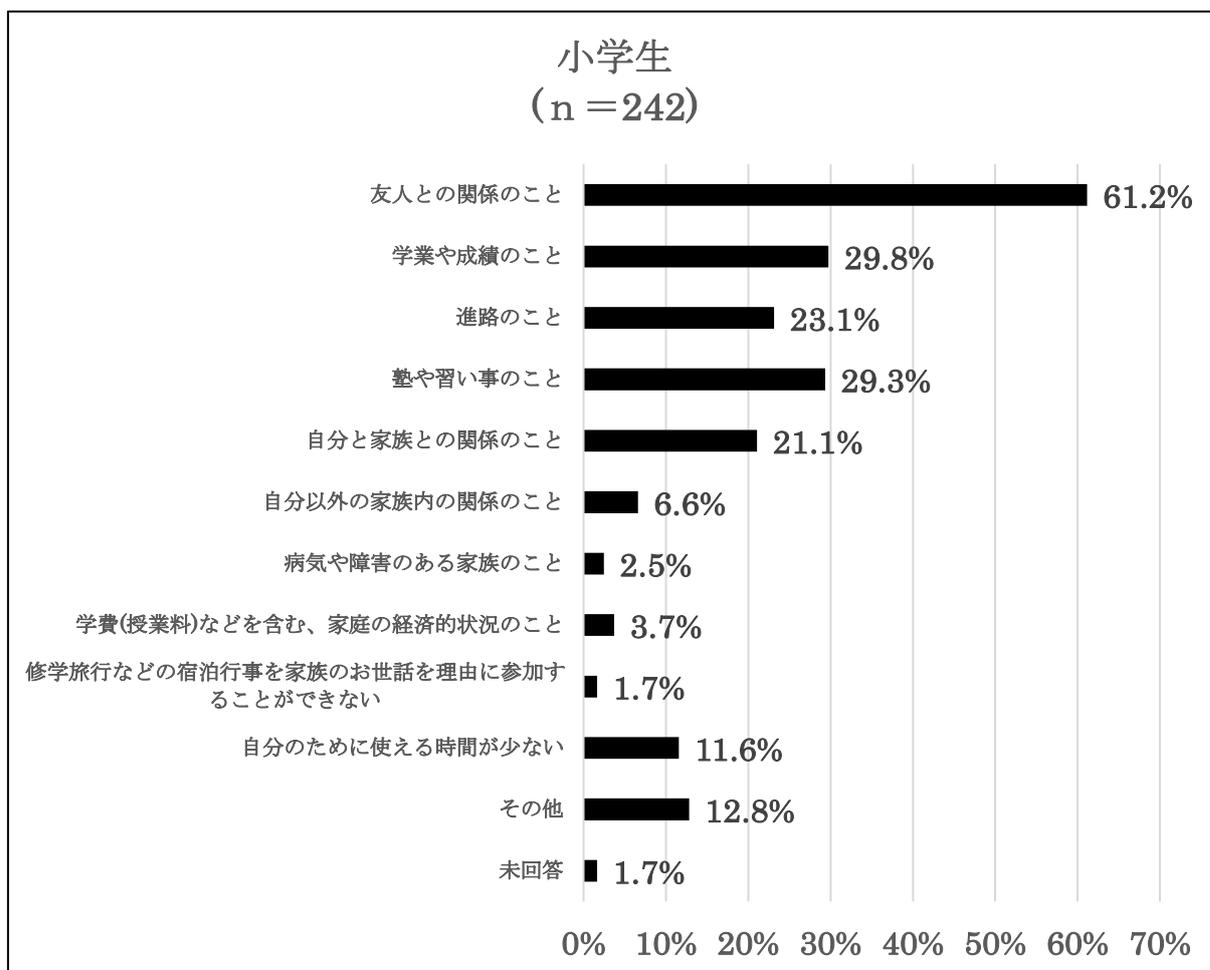
(内訳)

(件)

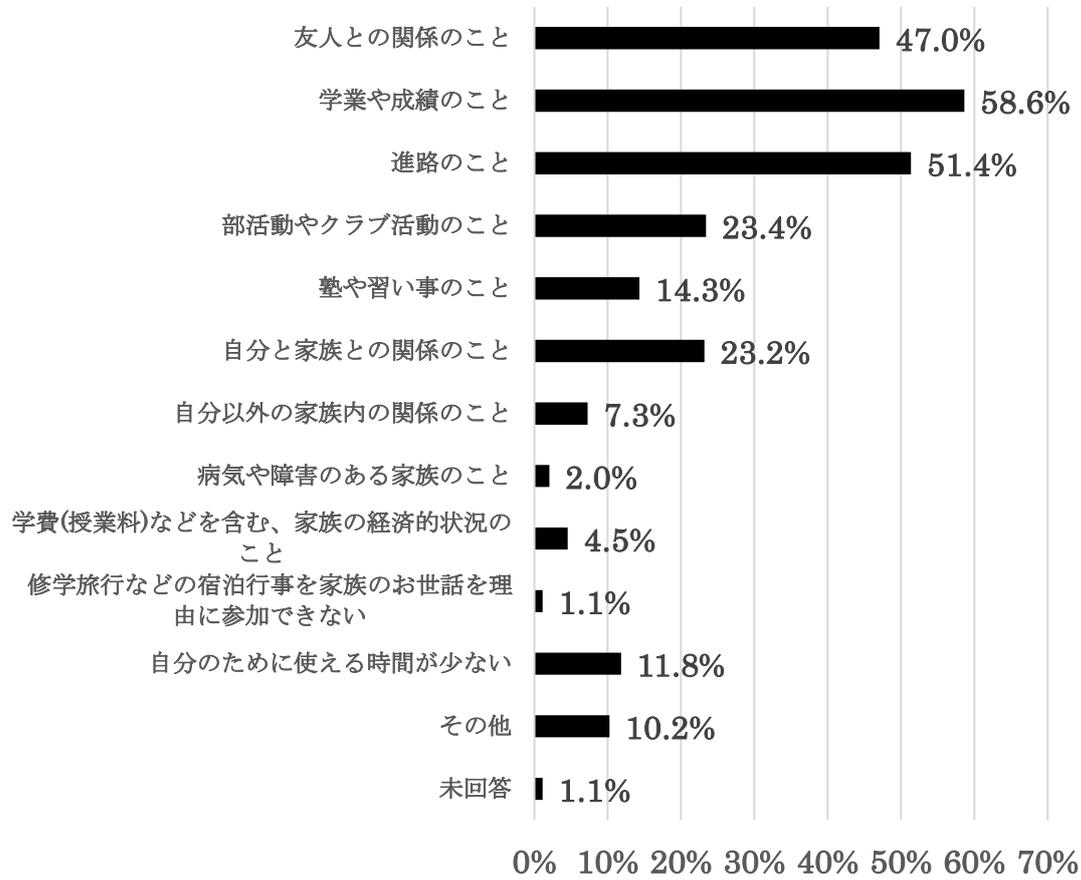
	小学生	中学生
ある	242	440
ない	1,453	2,010
未回答	16	24

⑥現在、悩んだり困っていること

⑤で悩んだり困っていることが「ある」と回答した小中学生を対象に悩んだり困っていることを複数回答で聞いたところ、小学生は「友人との関係のこと」(61.2%)が最も高くなっている。一方、中学生は「学業や成績のこと」(58.6%)となっている。



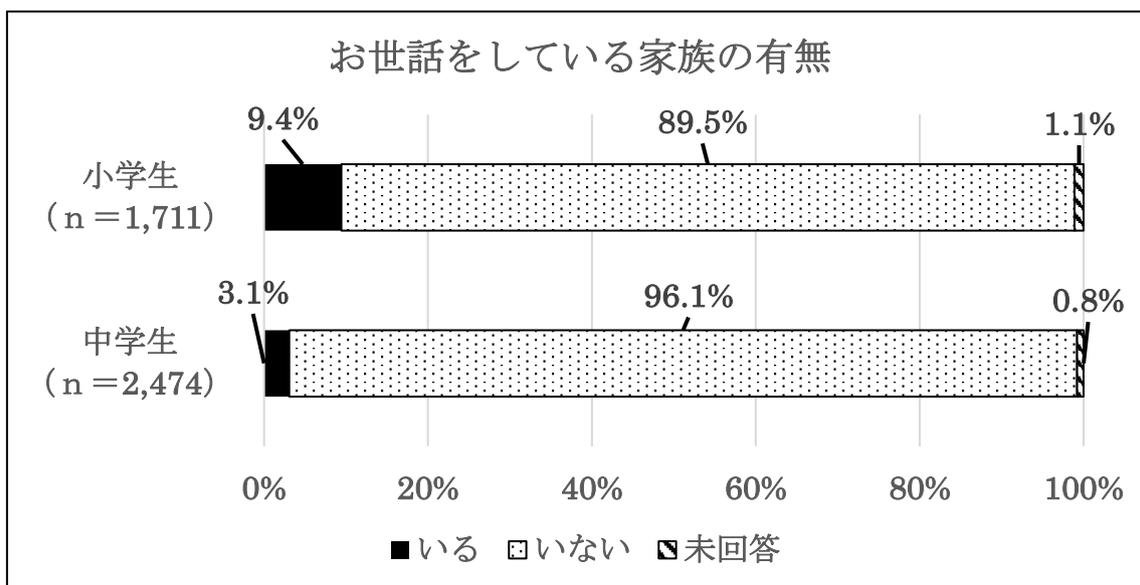
中学生  
(n=440)



### (3) 家族や家庭のことについて

#### ① お世話をしている家族の有無

お世話をしている家族の有無については、「いる」が小学生 9.4%・中学生 3.1%となっている。



(内訳)

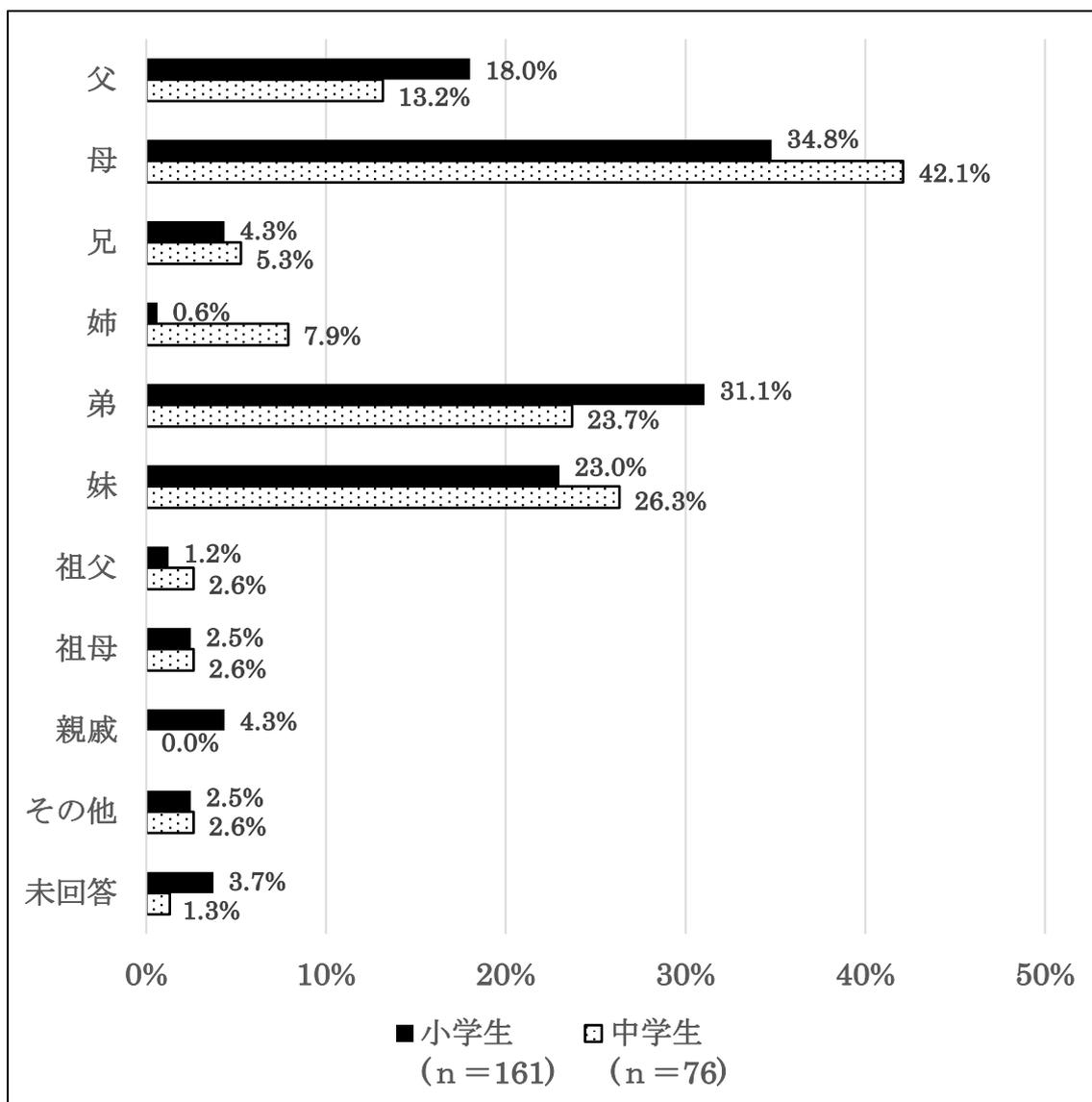
(件)

	小学生	中学生
いる	161	76
いない	1,531	2,378
未回答	19	20

※以降⑩までは、お世話をしている家族が「いる」場合

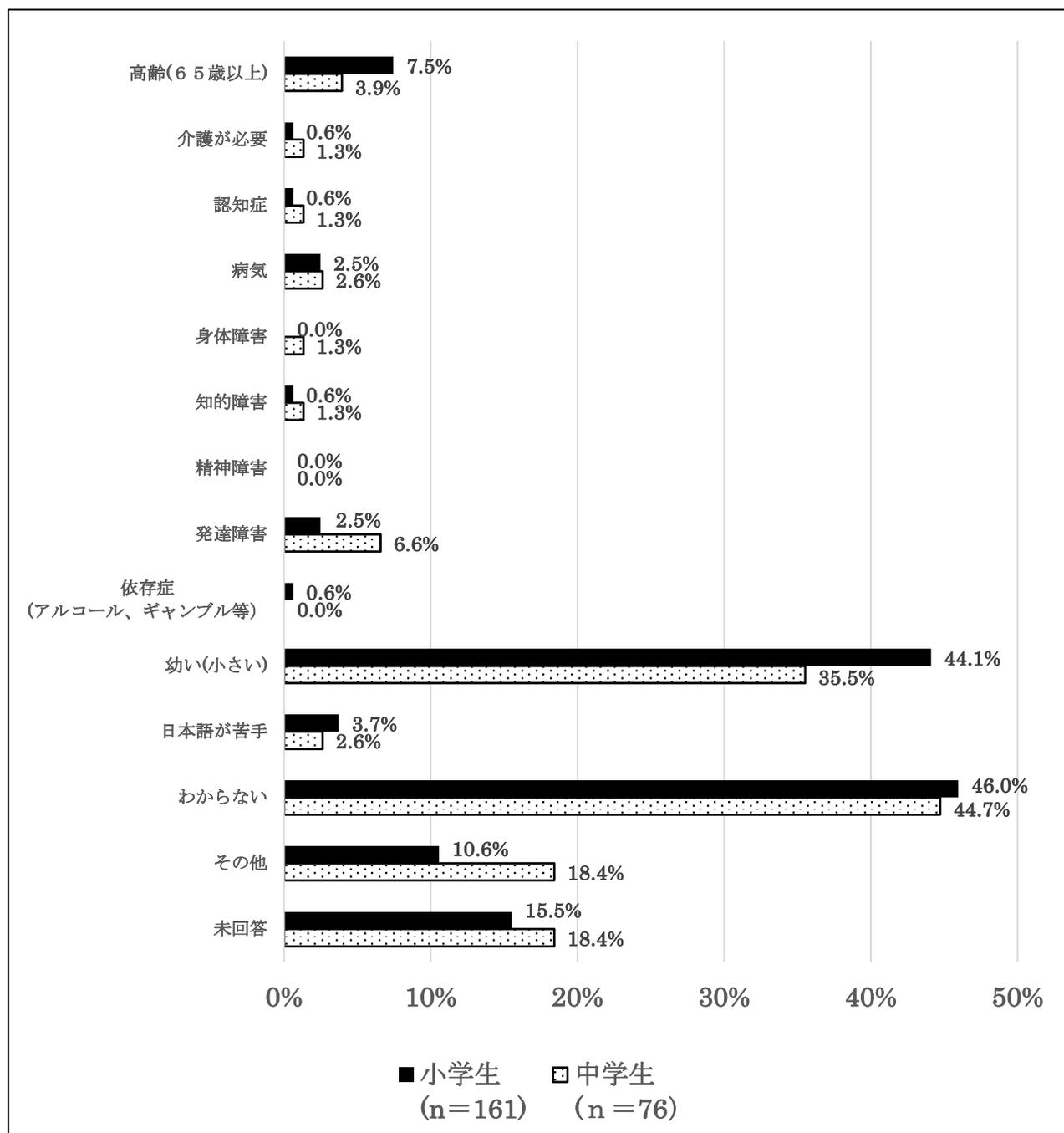
②お世話をしている家族の続柄

お世話をしている家族が「いる」場合のお世話を必要としている家族の続柄については、小学生は、「母」(34.8%)「弟」(31.1%)「妹」(23.0%)「父」(18.0%)。また、中学生は、「母」(42.1%)「妹」(26.3%)「弟」(23.7%)「父」(13.2%)になっている。



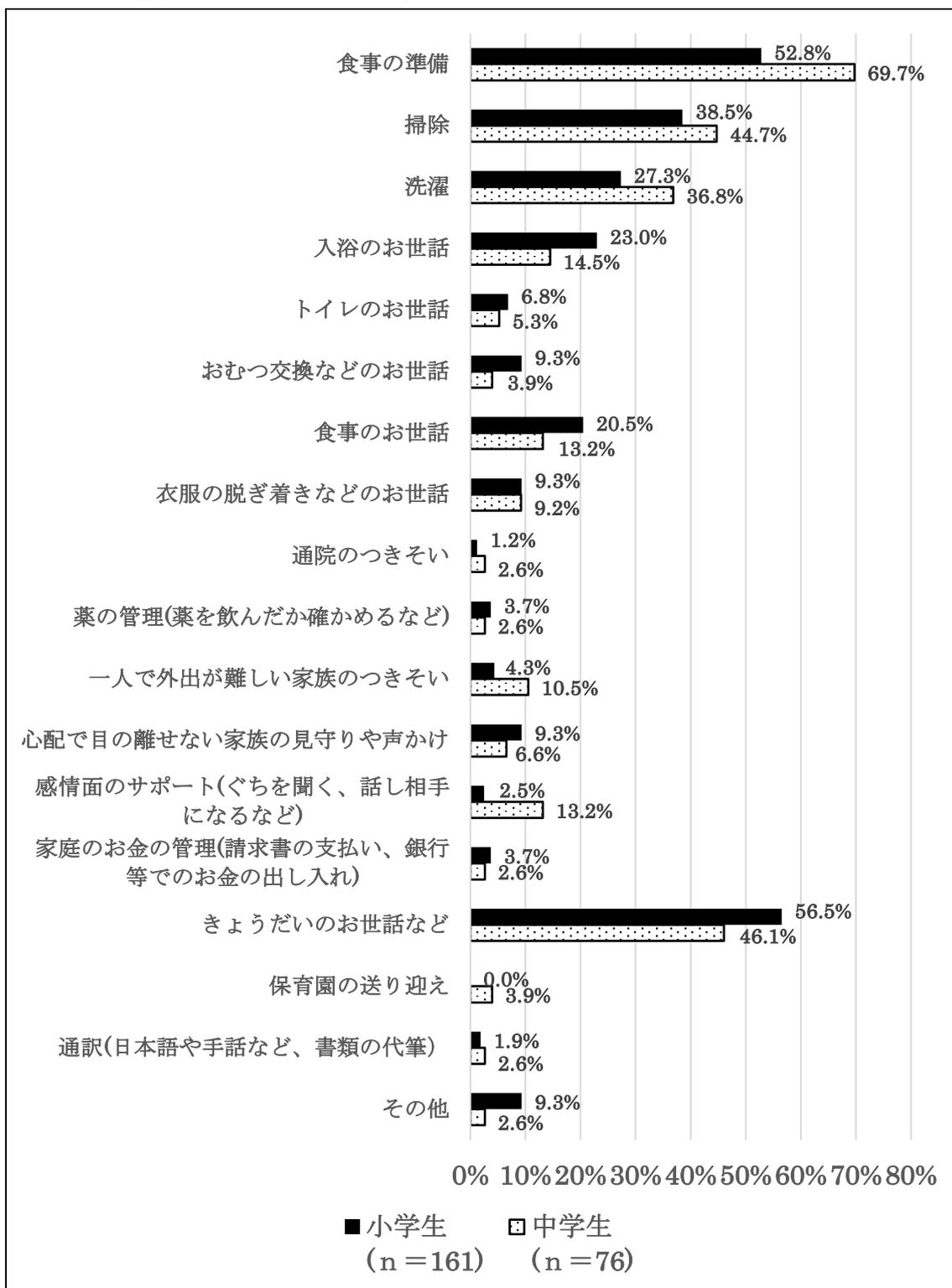
### ③お世話を必要としている家族の状況

お世話を必要としている家族の状況については、小学生(46.0%)・中学生(44.7%)ともに「わからない」が高くなっている。次に、小学生(44.1%)・中学生(35.5%)で「若い(小さい)」になっている。



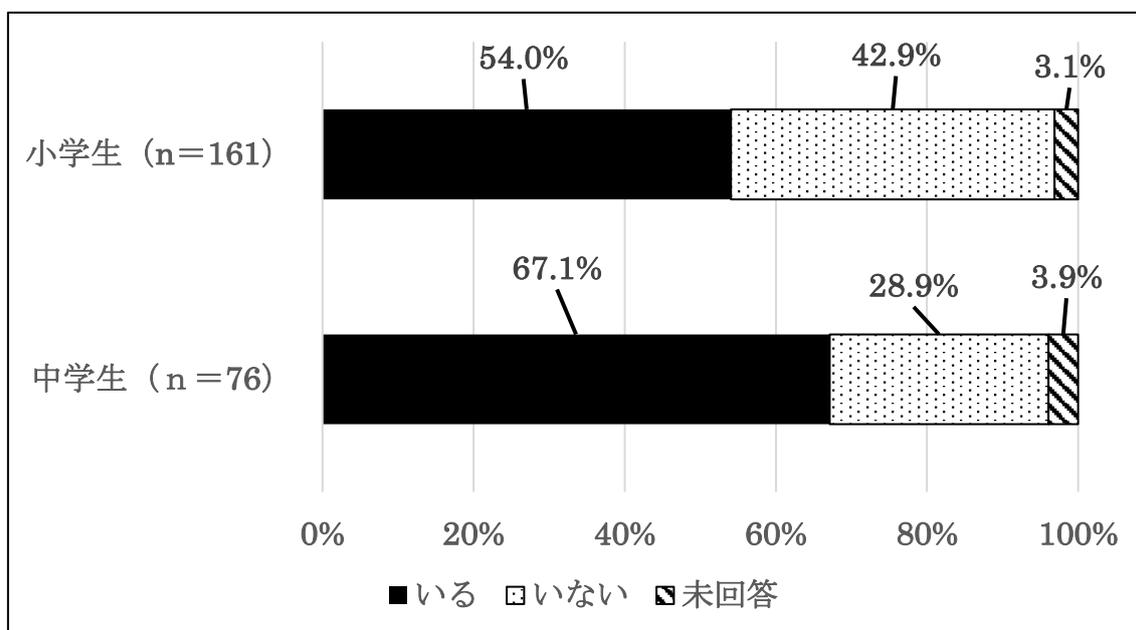
④行っているお世話の内容

お世話をしているお世話の内容については、小学生は「きょうだいのお世話など」(56.5%)「食事の準備」(52.8%)の順になっている。中学生では「食事の準備」(69.7%)「きょうだいのお世話など」(46.1%)となっている。



⑤本人以外に家族のお世話をしている人の有無

本人以外に家族のお世話をしている人の有無については、「いる」が小学生（54.0%）・中学生（67.1%）となっている。



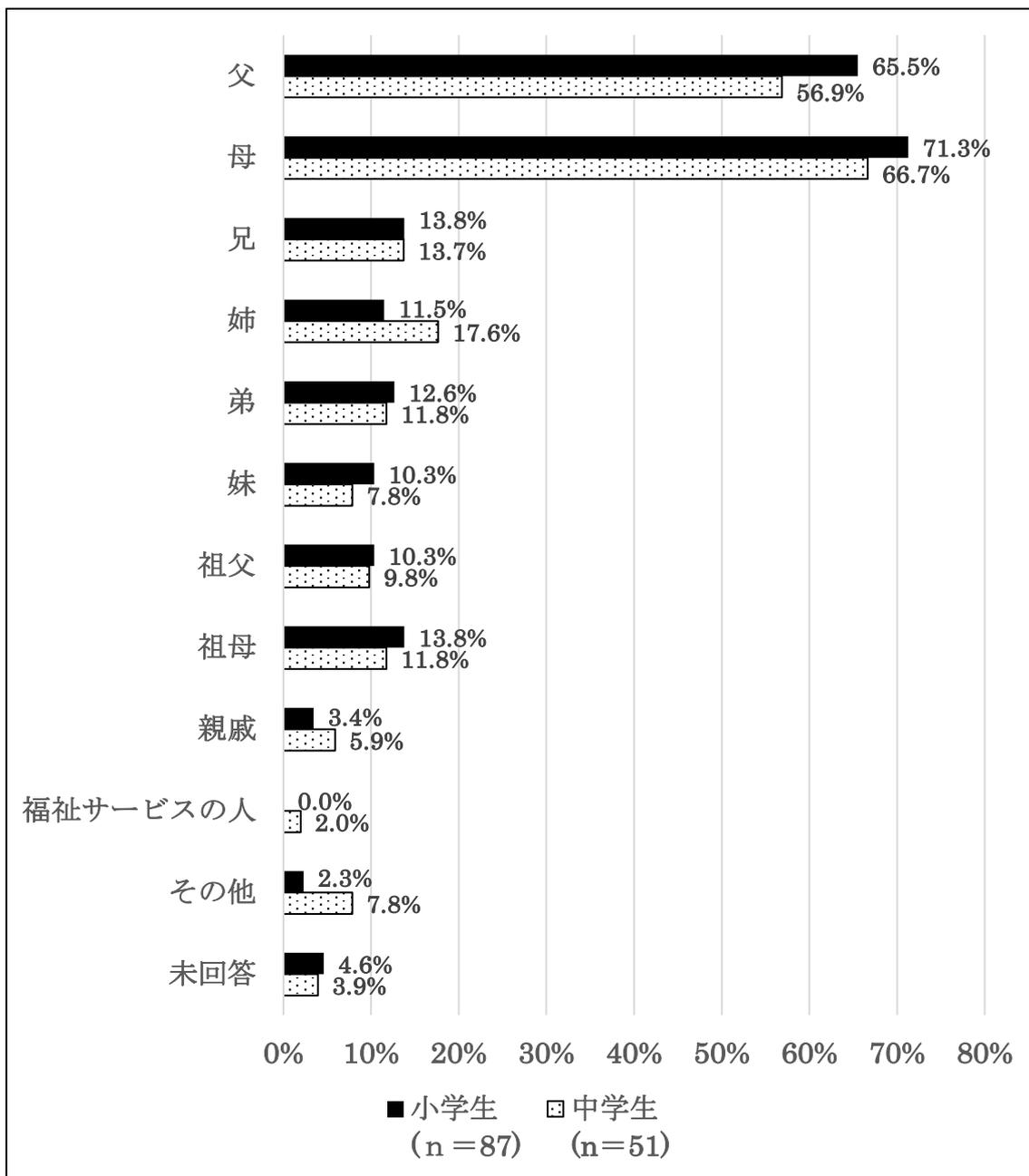
(内訳)

(件)

	小学生	中学生
いる	87	51
いない	69	22
未回答	5	3

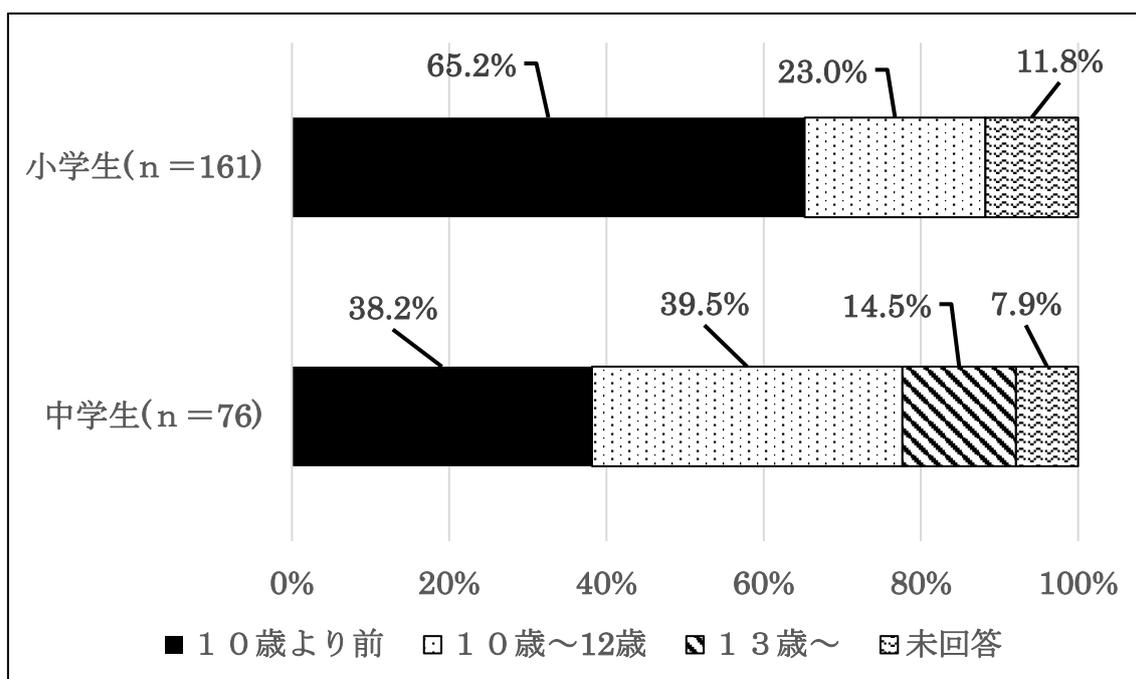
⑥本人以外にお世話をしている人の属性

本人以外に家族のお世話をしている属性については、小中学生ともに「母」「父」が高い数値になっている。



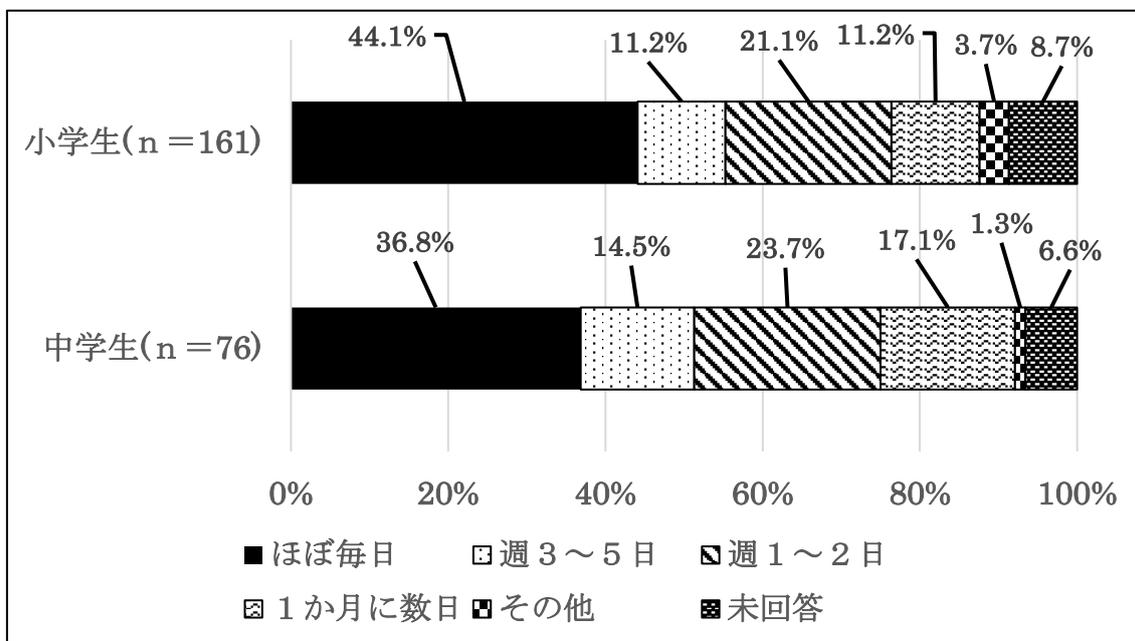
⑦お世話を始めた年齢

お世話を始めた年齢については、小学生では「10歳より前」(65.2%)が最も多く、次に「10歳～12歳」(23.0%)が多くなっている。中学生では、「10歳～12歳」(39.5%)が最も多く、次に「10歳より前」(38.2%)となっている。



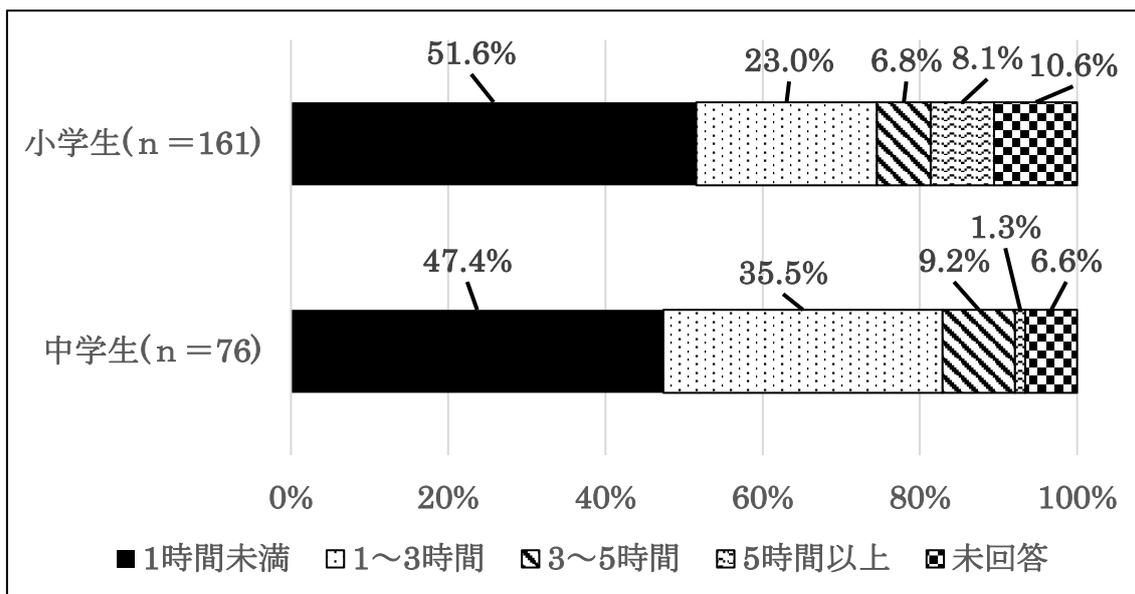
⑧お世話をしている頻度

お世話をしている頻度については、「ほぼ毎日」が小学生(44.1%)・中学生(36.8%)と最も多く、続いて「週1～2日」の順になっている。



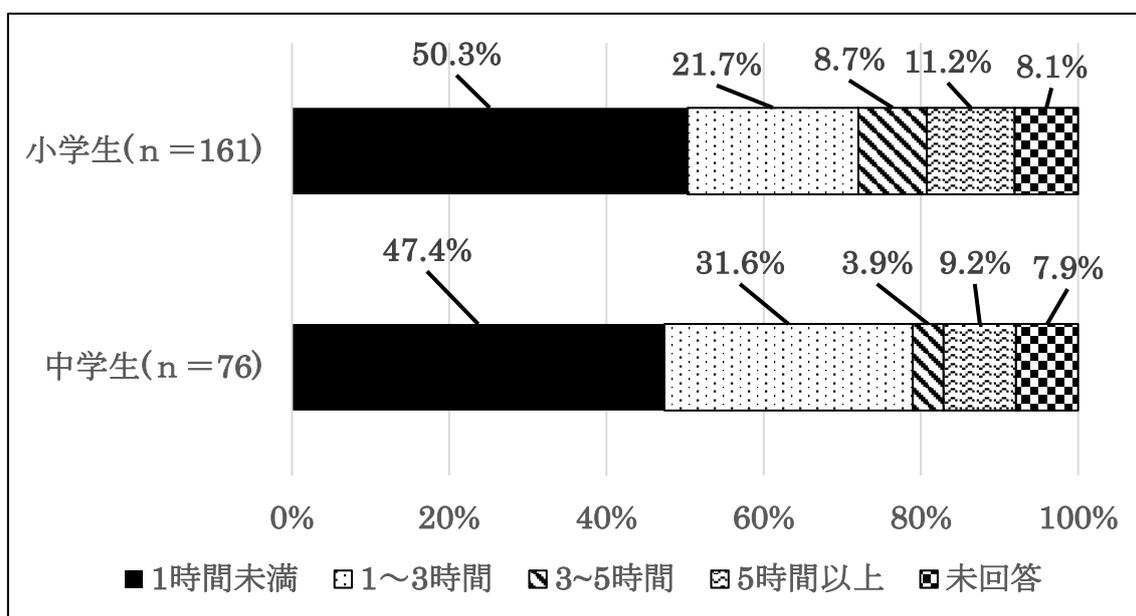
⑨一日あたりお世話に費やす時間(平日)

平日一日あたりお世話に費やす時間については、小学生(51.6%)・中学生(47.4%)ともに「1時間未満」が最も多い。



⑩一日あたりお世話に費やす時間(平日以外)

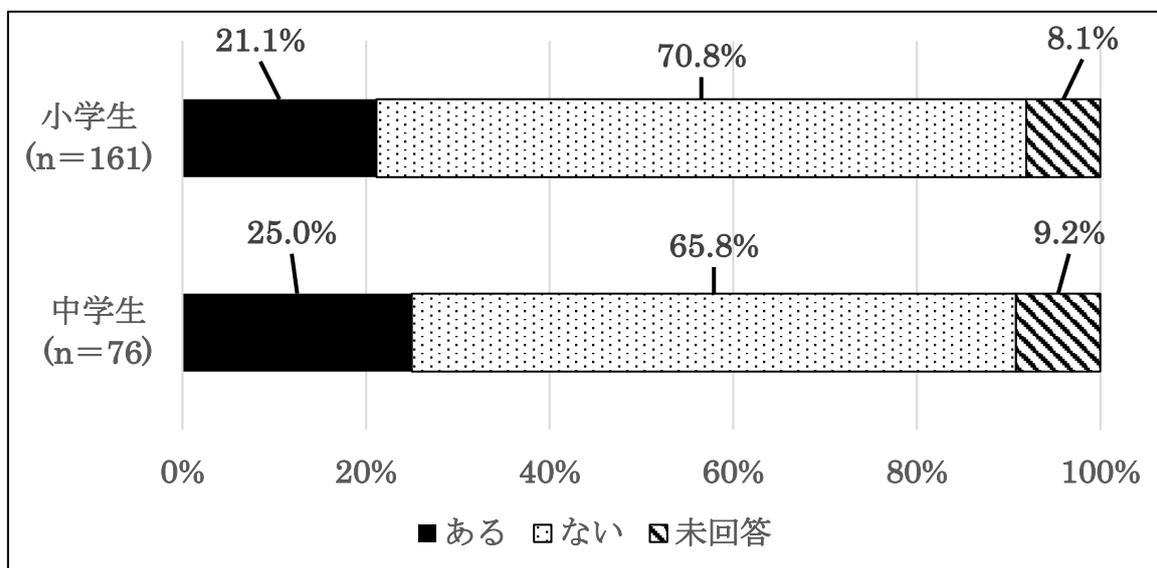
平日以外の日で一日あたりのお世話に費やす時間については、小中学生ともに約半数が「1時間未満」になっている。



⑨平日と⑩平日以外の比較では、小中学生ともに「1時間未満」が多いことには変わりはないが、「1時間未満」の層に関しては、お世話が日常生活の一部となっており、時間から見ても過度な負担感はないものと推定される。平日以外については、在宅の時間が増えることが影響するためか、平日に比べて、お世話に費やしている時間が3時間以上と回答した割合が高くなっている。

⑩お世話をしているためにできないことの有無

小学生(21.1%)・中学生(25.0%)が家族のお世話をしているためにやりたいこと、すべきことができないことが「ある」と回答している。



(内訳)

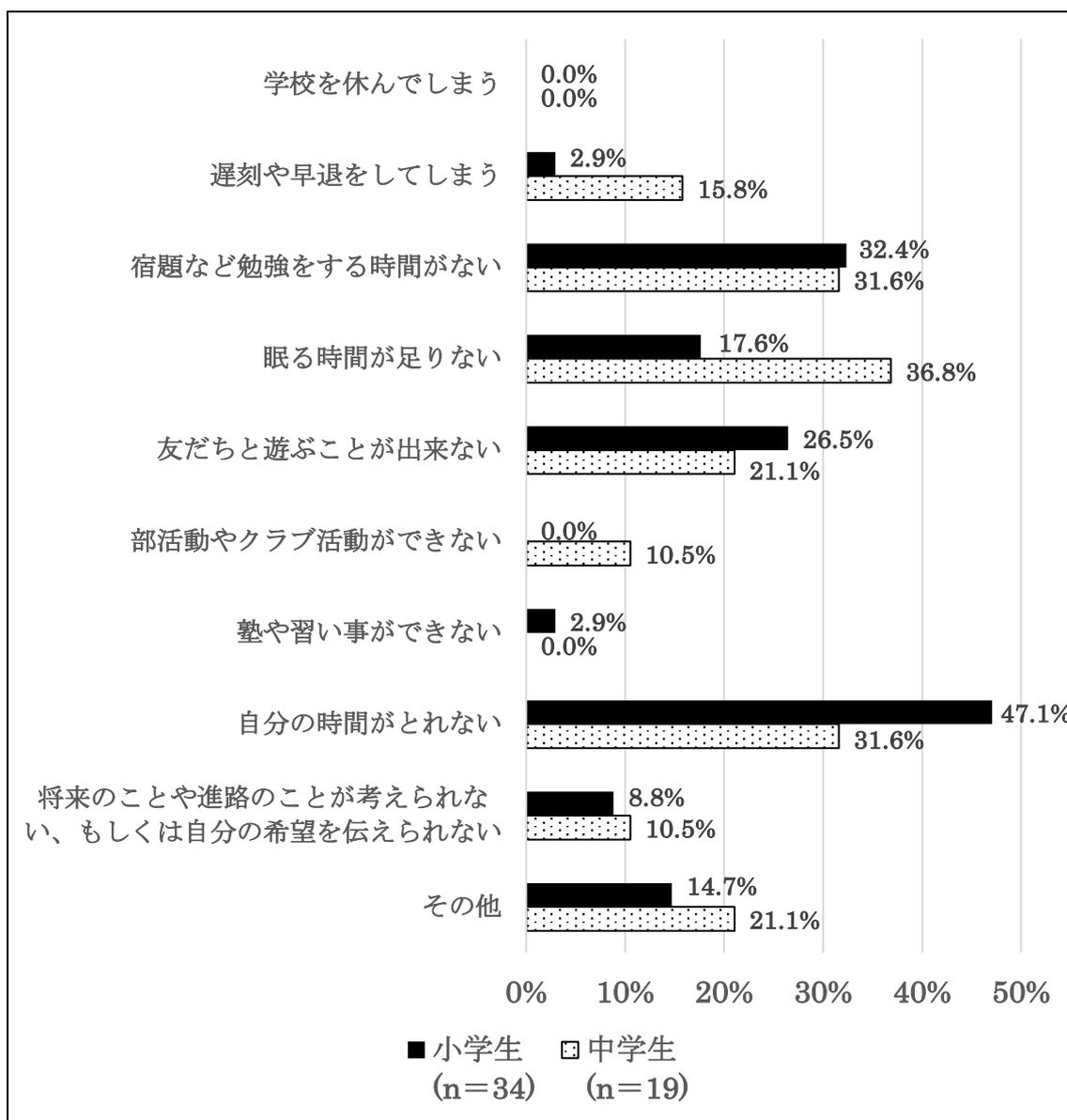
(件)

	小学生	中学生
ある	34	19
ない	114	50
未回答	13	7

⑫お世話をしていることでどのようなことができなかったか

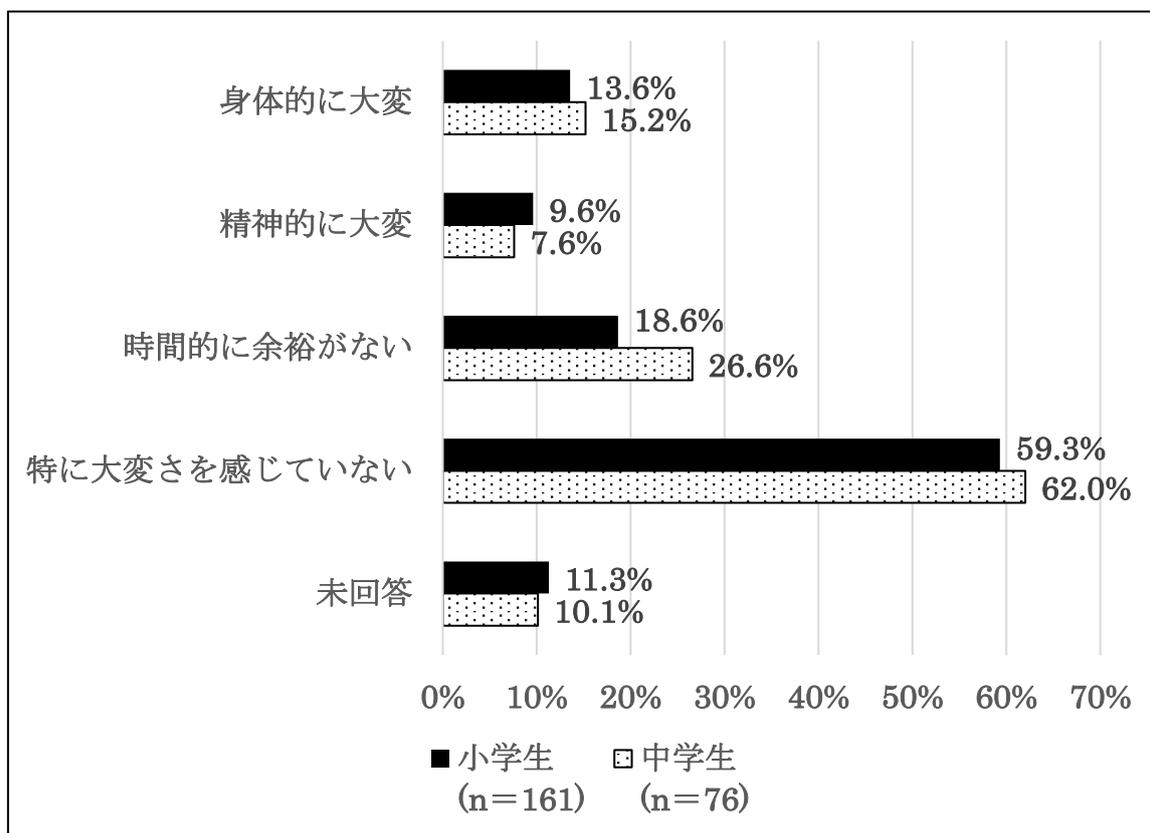
⑪で「ある」と回答した小中学生を対象に質問した。

お世話をしているためにできないことを複数回答で聞いたところ、小学生は「自分の時間がとれない」(47.1%)、続いて「宿題など勉強をする時間がない」(32.4%)となっている。一方、中学生では「眠る時間が足りない」(36.8%)、「宿題など勉強をする時間がない」(31.6%)「自分の時間がとれない」(31.6%)となっている。



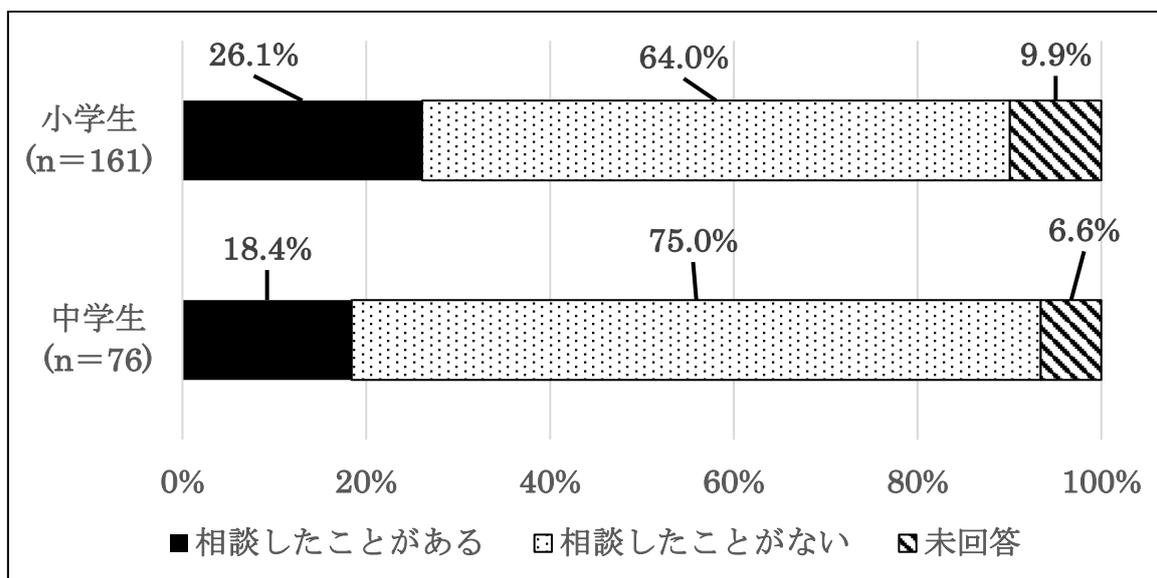
⑬お世話をすることで感じている大変さ

お世話をすることで感じている大変さを複数回答で聞いたところ、小学生(59.3%)・中学生(62.0%)とも「特に大変さは感じていない」が最も高くなっている。続いて小中学生ともに「時間的に余裕がない」「身体的に大変」の順になっている。



⑭お世話を必要としている家族のことや、お世話の悩みを相談した経験の有無

お世話を必要としている家族のことやお世話の悩みについては、「相談したことがない」が小学生(64.0%)・中学生(75.0%)ともに「相談したことがある」を大きく上回っている。



(内訳)

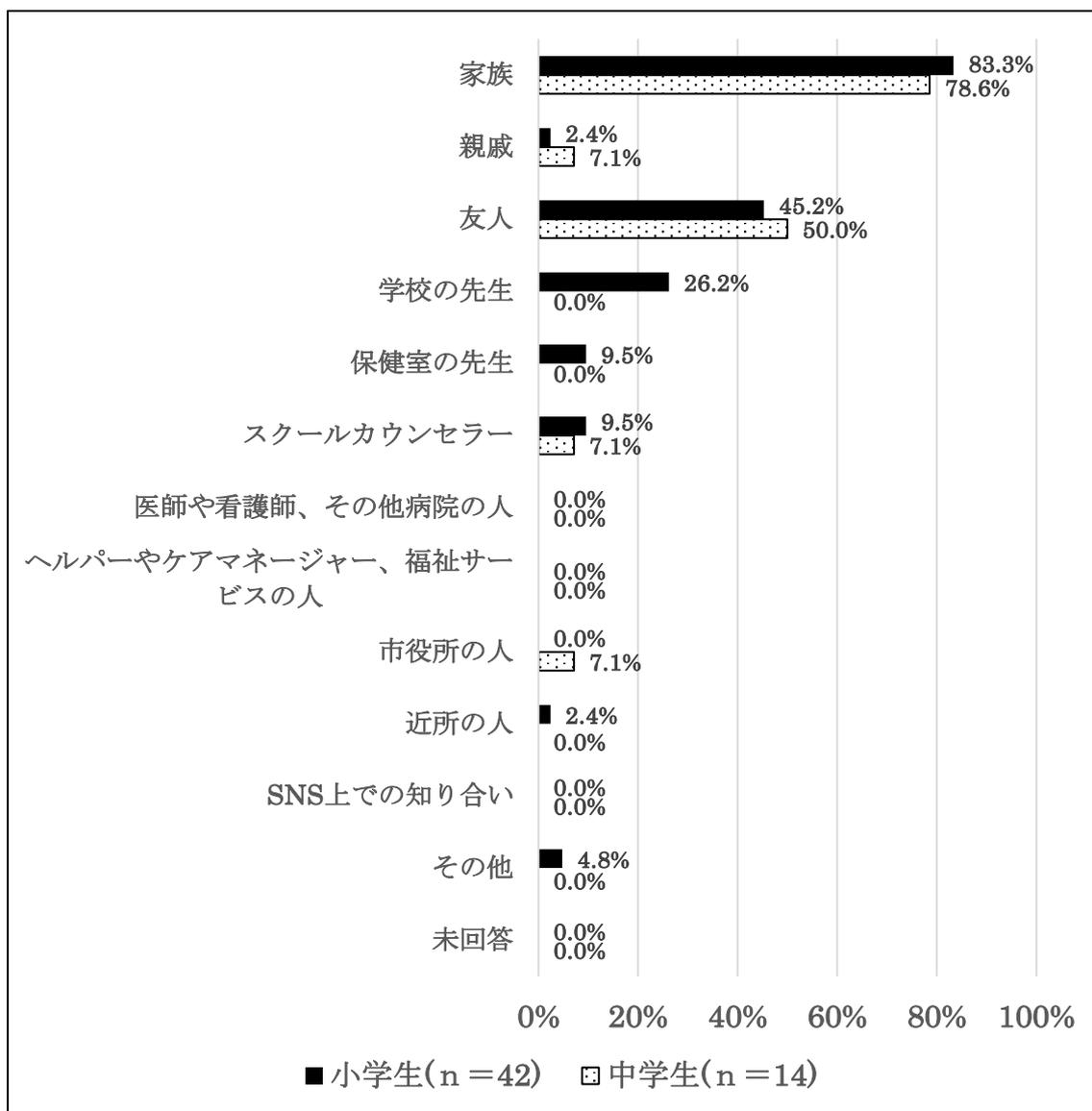
(件)

	小学生	中学生
相談したことがある	42	14
相談したことがない	103	57
未回答	16	5

⑮お世話を必要としている家族のことや、お世話の悩みを相談した相手

⑭で相談したことがあると回答した小中学生を対象に相談した相手について質問した。

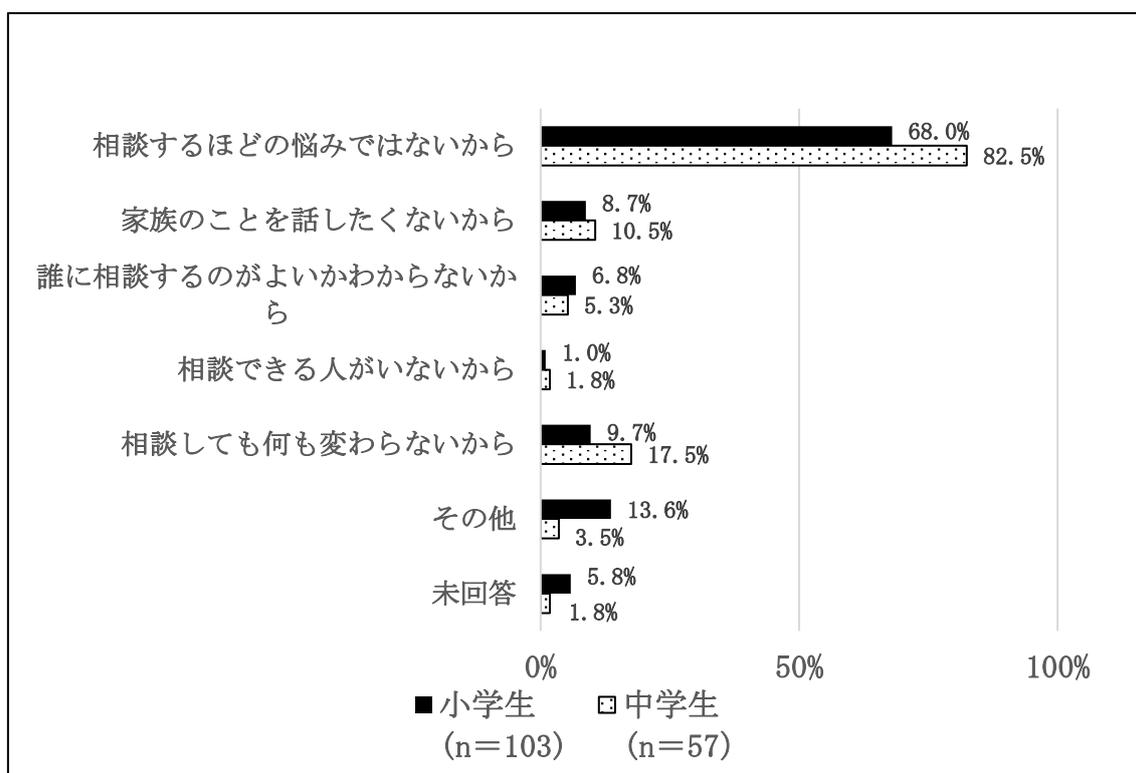
お世話を必要としている家族のことや、お世話の悩みを相談した相手については、小学生(83.3%)・中学生(78.6%)ともに「家族」が最も多く、続いて「友人」が多かった。



⑩相談していない理由

⑭で相談したことがないと回答した小中学生を対象に相談していない理由について質問した。

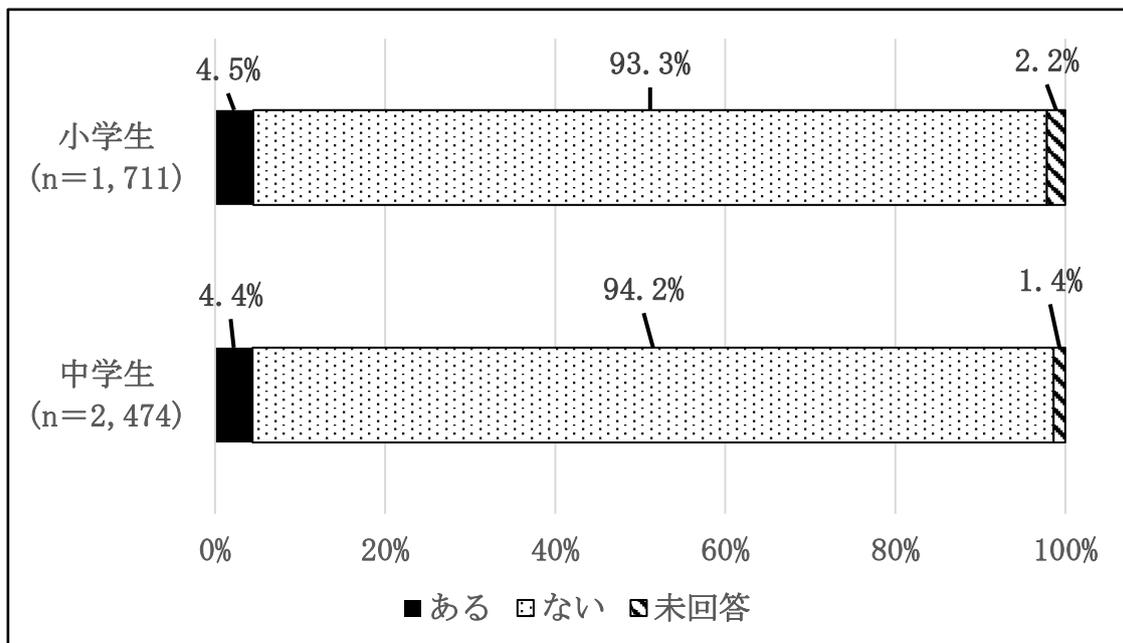
お世話の悩みやお世話を要する家族のことを相談していない理由については、小学生(68.0%)・中学生(82.5%)と「相談するほどの悩みではないから」が最も高いものの、次いで「相談しても何も変わらないから」「家族のことを話したくないから」「誰に相談するのがよいかわからないから」の回答があった。



※以降、全員回答

⑰学校や周りの大人に助けてほしいことや、必要としている支援はあるか

小学生 77 人(4.5%)・中学生 109 人(4.4%)が学校や周りの大人に助けてほしいことや、必要としている支援が「ある」と回答した。



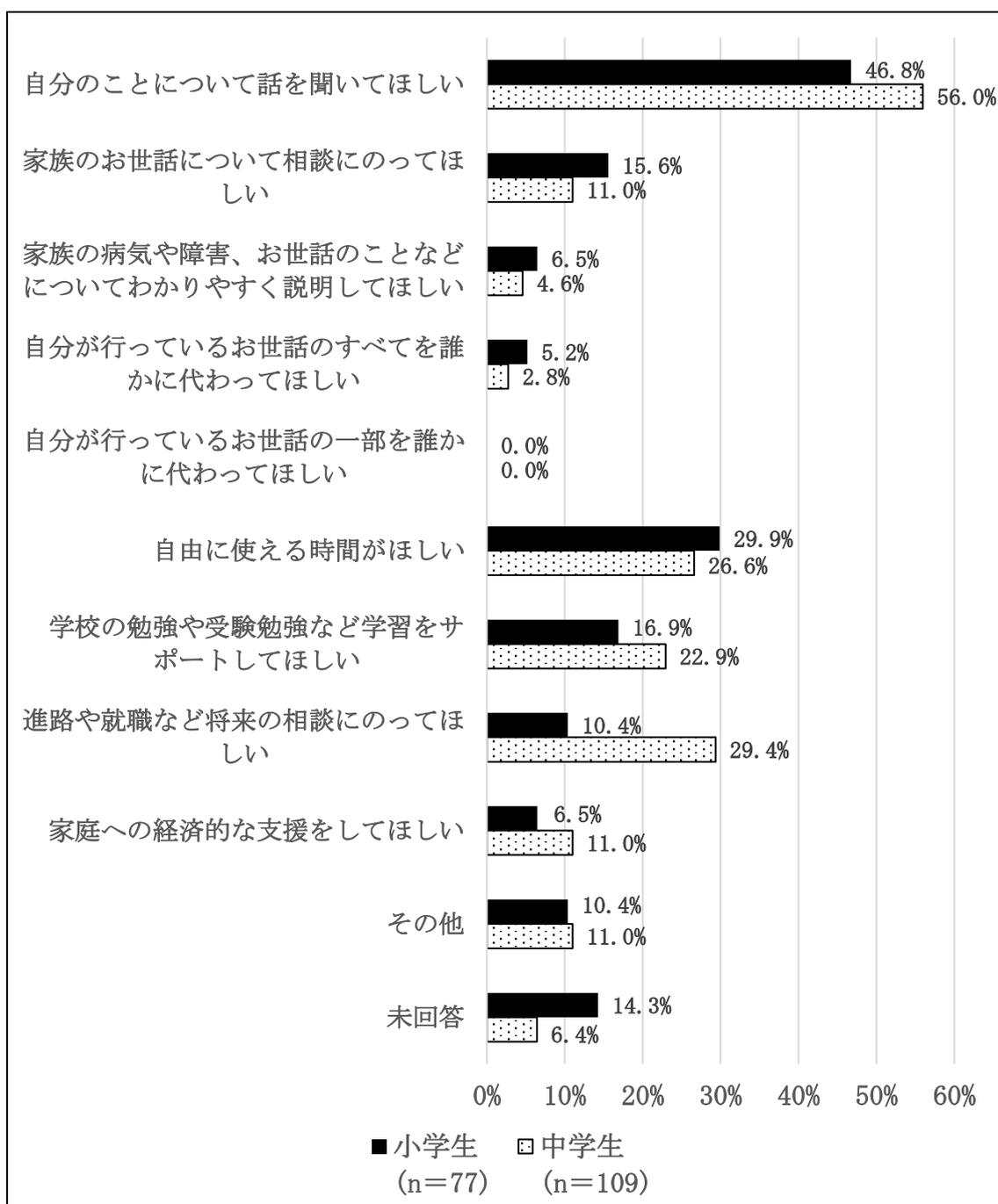
(内訳)

(件)

	小学生	中学生
ある	77	109
ない	1,597	2,331
未回答	37	34

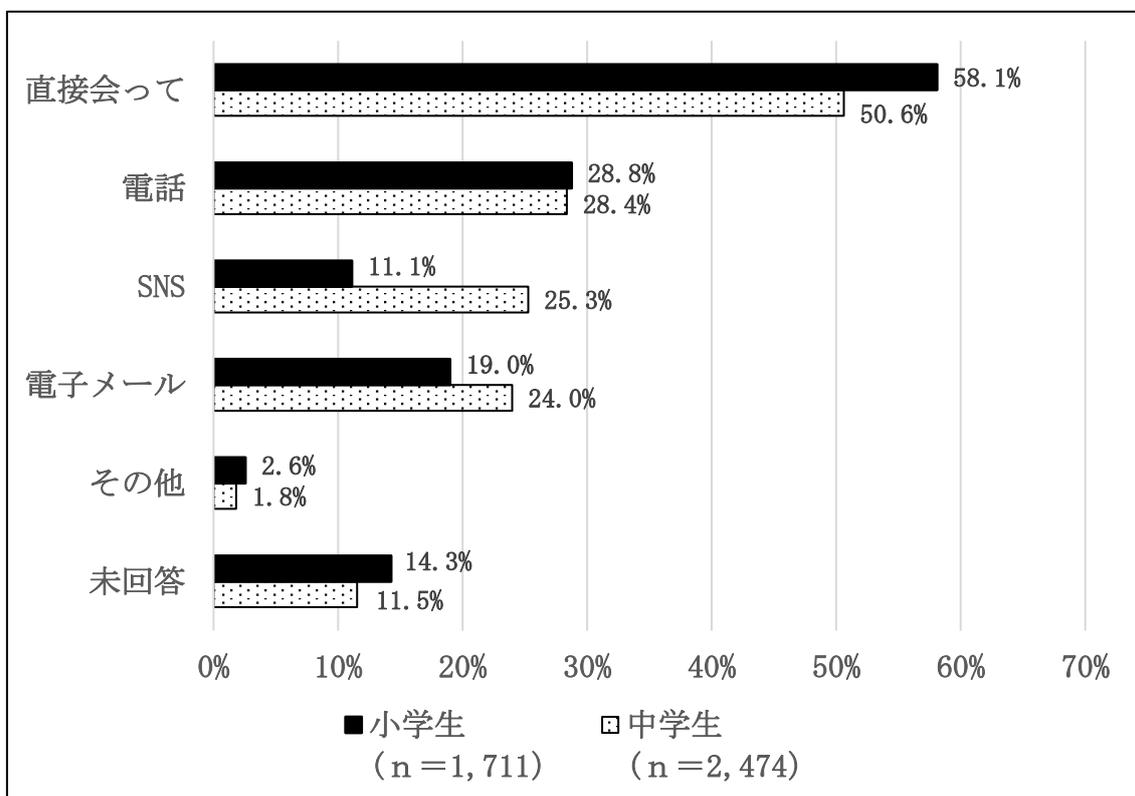
⑱学校や周りの大人に助けてほしいことや、必要としている支援は何か

⑰で「ある」と回答した小中学生を対象に必要な支援は何か質問した。  
小中学生ともに「自分のことについて話を聞いてほしい」の割合が最多となった。



⑱話や相談をしたい方法

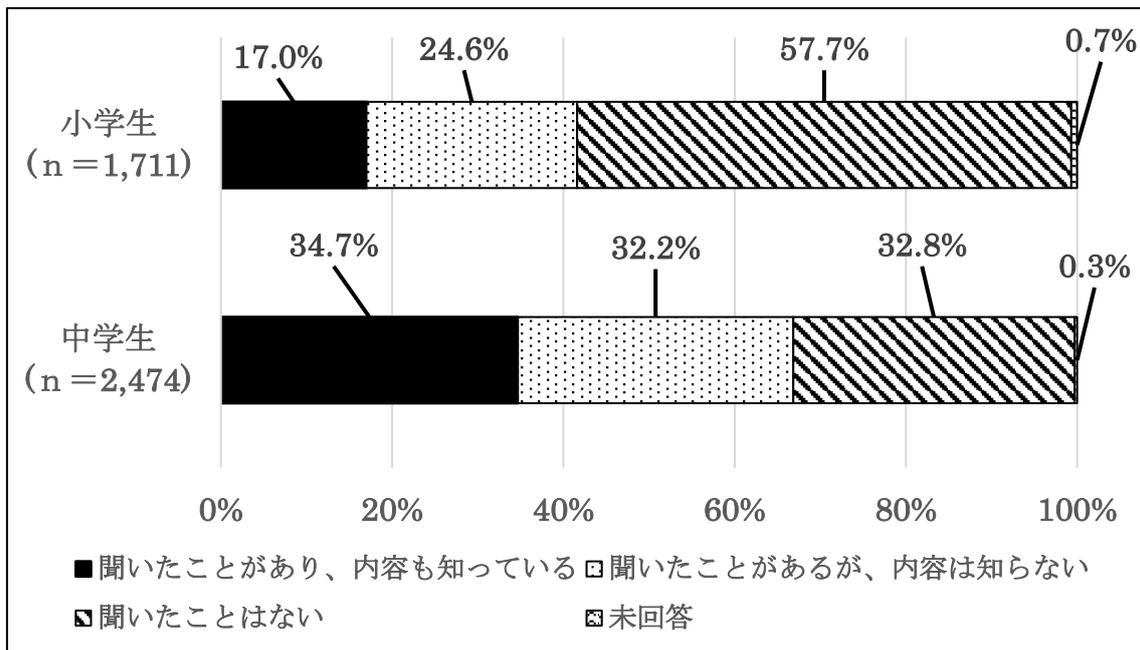
話や相談したい方法について複数回答で聞いたところ、「直接会って」が小学生(58.1%)・中学生(50.6%)ともに最も高い。



#### (4) ヤングケアラーについて

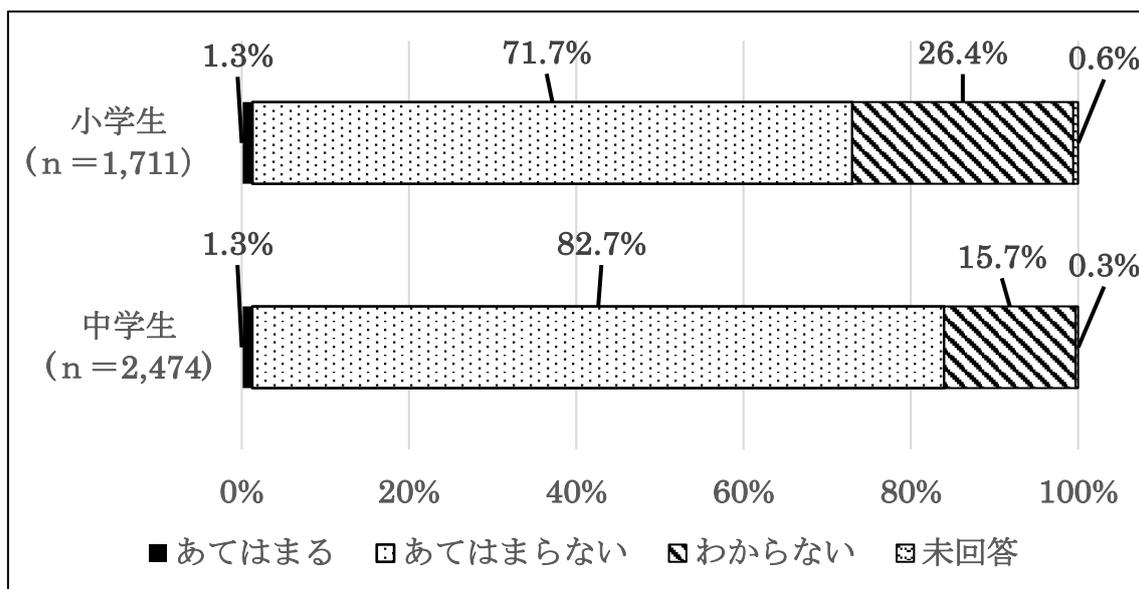
##### ① ヤングケアラーという言葉と内容に対する認知状況

ヤングケアラーという言葉と内容に対する認知状況については、小学生では、「聞いたことはない」(57.7%)、続いて「聞いたことがあるが、内容は知らない」(24.6%)「聞いたことがあり、内容も知っている」(17.0%)の順になっている。中学生では、「聞いたことがあり、内容も知っている」(34.7%)、続いて「聞いたことはない」(32.8%)「聞いたことがあるが、内容は知らない」(32.2%)の順になっている。



## ②ヤングケアラーの自己認識

ヤングケアラーについての説明とイラストを提示したうえで、自分自身がヤングケアラーにあてはまるかを聞いたところ、「あてはまる」が小学生(1.3%)・中学生(1.3%)となった。「わからない」は、小学生(26.4%)・中学生(15.7%)となっている。



### 3. クロス集計結果

本調査では(1)家族のお世話の有無により回答に差異が生じているか分析するためにクロス集計を行った。

※表内で家族のお世話の有無によって回答に差が5ポイント以上生じている部分に網かけをしている。

#### (1)家族のお世話の有無による差

##### ①家族のお世話の有無×健康状態

健康状態については、お世話の有無と明確な因果関係は認められなかった。

	家族のお世話	n	よい	まあよい	ふつう	あまりよくない	よくない	未回答
小学生	有	161	60.9%	21.7%	13.0%	3.7%	0.6%	0%
	無	1,531	58.4%	22.9%	14.8%	3.1%	0.2%	0.6%
中学生	有	76	47.4%	34.2%	13.2%	3.9%	1.3%	0.0%
	無	2,378	48.2%	26.2%	20.0%	4.5%	0.6%	0.5%

##### ②家族のお世話の有無×学校への通学状況(出欠)

学校への通学状況(出欠)については、お世話の有無と明確な因果関係は認められなかった。

	家族のお世話	n	ほとんど欠席しない	たまに欠席する	よく欠席する	未回答
小学生	有	161	82.6%	16.1%	0.6%	0.6%
	無	1,531	89.5%	9.3%	1.0%	0.2%
中学生	有	76	89.5%	9.2%	1.3%	0%
	無	2,378	90.6%	7.6%	1.3%	0.5%

③家族のお世話の有無×学校への通学状況(遅刻や早退)

学校への通学状況(遅刻や早退の状況)については、お世話の有無と明確な因果関係は認められなかった。

	家族のお世話	n	ほとんどしない	たまにする	よくする	未回答
小学生	有	161	80.7%	14.3%	3.7%	1.2%
	無	1,531	85.6%	10.4%	3.2%	0.8%
中学生	有	76	89.5%	6.6%	2.6%	1.3%
	無	2,378	87.3%	10.4%	1.9%	0.3%

④家族のお世話の有無×部活動やクラブ活動、塾や習い事への参加状況

部活動やクラブ活動、塾や習い事への参加状況については、お世話の有無による大きな差異は認められなかった。

	家族のお世話	n	はい	いいえ	未回答
小学生	有	161	86.3%	13.0%	0.6%
	無	1,531	84.1%	15.5%	0.3%
中学生	有	76	92.1%	6.6%	1.3%
	無	2,378	95.5%	4.1%	0.5%

⑤家族のお世話の有無×普段の生活であてはまること

普段の生活状況について、小学生は「授業中に寝てしまうことが多い」の項目を除いて、お世話がある小学生の方が、ない小学生より各項目で、高い割合になった。中でも、「宿題や課題ができていないことが多い」「持ち物の忘れ物が多い」の項目が高くなった。中学生は、「塾や習い事を休んでしまうことが多い」の項目を除いて、お世話がある中学生の方が、ない中学生より各項目で高い割合となった。中でも、「宿題や課題ができていないことが多い」「持ち物の忘れ物が多い」「提出物を出すのが遅れてしまうことが多い」の項目が高くなった。小中学生ともに家族のお世話があることに起因して、学校生活等で何らかの課題が表面化している状況が伺える。

	家族のお世話	n	授業中に寝てしまうことが多い	宿題や課題ができていないことが多い	持ち物の忘れ物が多い	提出物を出すのが遅れてしまうことが多い	学校では一人でいることが多い	保健室で過ごすことが多い	部活動やクラブ活動を休むことが多い	塾や習い事を休んでしまうことが多い	友人と遊んだり、おしゃべりする時間が少ない	特にない	その他
小学生	有	161	3.1%	26.7%	31.7%	23.6%	14.3%	3.1%		4.3%	8.7%	48.4%	0.6%
	無	1,531	3.9%	16.2%	24.5%	20.8%	8.0%	0.6%		1.7%	7.3%	59.0%	1.0%
中学生	有	76	19.7%	31.6%	31.6%	40.8%	9.2%	1.3%	7.9%	0%	9.2%	42.1%	0%
	無	2,378	13.5%	24.5%	24.9%	28.8%	7.4%	0.5%	6.2%	1.8%	5.8%	48.6%	0.8%

⑥家族のお世話の有無×現在、悩んだり困ったりしていることの有無

お世話がある小中学生の方が悩んだり困っていることが「ある」と回答している割合が、お世話がない小中学生と比べて高くなった。

(件)

	家族のお世話	n	ある	ない	未回答
小学生	有	161	28(17.4%)	132(82.0%)	1(0.6%)
	無	1,531	210(13.7%)	1,309(85.5%)	12(0.8%)
中学生	有	76	15(19.7%)	59(77.6%)	2(2.6%)
	無	2,378	422(17.7%)	1,936(81.4%)	20(0.8%)

⑦家族のお世話の有無×現在、悩んだり困っていること

現在、悩んだり困ったりしていることについて、小学生は「自分と家族との関係のこと」「自分以外の家族内の関係のこと」「修学旅行などの宿泊行事を家族のお世話を理由に参加することができない」の項目において、お世話がある小学生の方がいない小学生よりも高い割合になった。一方、中学生では、「友人との関係のこと」「部活動やクラブ活動のこと」「自分と家族との関係のこと」「学費(授業料)などを含む、家庭の経済的状況のこと」「自分のために使える時間が少ない」の項目において家族のお世話がある中学生の方がいない中学生よりも高い割合になった。

	家族のお世話	n	友人との関係のこと	学業や成績のこと	進路のこと	部活動やクラブ活動のこと	塾や習い事のこと	自分と家族との関係のこと	自分以外の家族内の関係のこと	病気や障害のある家族のこと	学費(授業料)などを含む、家庭の経済的状況のこと	修学旅行などの宿泊行事を家族のお世話を理由に参加できない	自分のために使える時間が少ない	その他	未回答
小学生	有	28	53.6%	14.3%	14.3%		28.6%	25.0%	7.1%	0%	3.6%	3.6%	7.1%	14.3%	3.6%
	無	210	61.4%	31.9%	24.3%		29.5%	20.5%	6.2%	2.9%	3.8%	1.4%	12.4%	11.9%	1.4%
中学生	有	15	60.0%	40.0%	26.7%	40.0%	13.3%	33.3%	6.7%	0%	6.7%	0%	26.7%	20.0%	6.7%
	無	422	46.7%	59.7%	52.4%	22.7%	14.2%	23.0%	7.3%	2.1%	4.5%	1.2%	11.4%	10.0%	0.9%

⑧家族のお世話の有無×学校や周りの大人に助けてほしいこと・支援の有無

お世話があると回答した小中学生において「ある」の回答割合が、お世話がないと回答した小中学生より高い割合になった。

(件)

	家族のお世話	n	ある	ない	未回答
小学生	有	161	20(12.4%)	135(83.9%)	6(3.7%)
	無	1,531	57(3.7%)	1,462(95.5%)	12(0.8%)
中学生	有	76	8(10.5%)	66(86.8%)	2(2.6%)
	無	2,378	101(4.2%)	2,265(95.2%)	12(0.5%)

⑨家族のお世話の有無×学校や周りの大人に助けてほしいこと・支援

小中学生ともにお世話の有無にかかわらず「自分のことについて話を聞いてほしい」の項目が高い割合になった。

家族のお世話		n	自分のことについて話を聞いてほしい	家族のお世話について相談にのってほしい	家族の病気や障害、お世話のことなどについてわかりやすく説明してほしい	自分が行っているお世話のすべてを誰かに代わってほしい	自分が行っているお世話の一部を誰かに代わってほしい	自由に使える時間がほしい	学校の勉強や受験勉強など学習をサポートしてほしい	進路や就職など将来の相談にのってほしい	家庭への経済的支援をしてほしい	その他	未回答
小学生	有	20	45.0%	25.0%	5.0%	0%	0.0%	30.0%	0%	0%	5.0%	5.0%	15.0%
	無	57	47.4%	12.3%	7.0%	7.0%	0.0%	29.8%	22.8%	14.0%	7.0%	12.3%	14.0%
中学生	有	8	62.5%	0%	0%	12.5%	0.0%	12.5%	0%	12.5%	12.5%	12.5%	0%
	無	101	55.4%	11.9%	5.0%	2.0%	0.0%	27.7%	24.8%	30.7%	10.9%	10.9%	6.9%

⑩家族のお世話の有無×相談方法

相談方法については、小中学生ともに「直接会って」、「電話」の項目が家族のお世話の有無にかかわらず回答する割合が高かった。中学生は次いで「SNS」や「電子メール」の項目の割合も高かったが、こちらは家族のお世話のない中学生の回答割合が若干高くなっている。

	家族のお世話	n	直接会って	電話	SNS	電子メール	その他	未回答
小学生	有	161	62.1%	27.3%	9.3%	11.8%	3.7%	14.9%
	無	1,531	57.7%	29.1%	11.3%	11.9%	2.5%	13.8%
中学生	有	76	50.0%	31.6%	23.7%	22.4%	3.9%	10.5%
	無	2,378	50.5%	28.2%	25.4%	24.1%	1.8%	11.5%

⑪家族のお世話の有無×ヤングケアラーの認知度

ヤングケアラーの認知度については、家族のお世話の有無にかかわらず「聞いたことがない」と回答した割合が最も高かった。

	家族のお世話	n	聞いたことがあり、内容も知っている	聞いたことがあ るが、よく知 らない	聞いたことがな い	未回答
小学生	有	161	8.1%	12.4%	77.6%	1.9%
	無	1,531	18.1%	25.9%	55.8%	0.3%
中学生	有	76	10.5%	32.9%	53.9%	2.6%
	無	2,378	35.4%	32.1%	32.3%	0.2%

⑫家族のお世話の有無×ヤングケアラーの自己認識

小中学生のヤングケアラーの自己認識については、小中学生ともに家族のお世話の有無にかかわらず「あてはまらない」とする回答した割合が最も高かった。一方、家族のお世話がある小中学生は「あてはまる」と回答している割合が高かったほか、「わからない」とする回答割合も高かった。

	家族のお世話	n	あてはまる	あてはまらない	わからない	未回答
小学生	有	161	5.0%	46.0%	47.2%	1.9%
	無	1,531	0.9%	74.8%	24.0%	0.3%
中学生	有	76	9.2%	42.1%	44.7%	3.9%
	無	2,378	1.0%	84.0%	14.8%	0.2%

#### 4. 前年度との比較

※令和6年度「子どもの生活についてのアンケート」（令和7年3月実施）との比較

##### (1) 回収率

前年度より回収率が少し下がったものの、全体で6割以上の回答を得ることができた。

令和6年度集計結果

(件)

調査対象	生徒数	回収総数	回収率
小学生	2,909	1,939	66.7%
中学生	3,795	2,442	64.3%
合計	6,704	4,381	65.3%

令和7年度集計結果

(件)

調査対象	生徒数	回収総数	回収率
小学生	2,923	1,711	58.5%
中学生	3,798	2,474	65.1%
合計	6,721	4,185	62.3%

##### (2) お世話をしている家族の有無

前年度実施した実態調査では、「自分をお世話しているのは誰か」という質問であると勘違いしている回答や簡単なお手伝いなども過度なお世話と認識して回答していたと思われるケースがあったため設問項目の工夫を行った。そのことが影響しているのか、お世話をしている小中学生の人数が減少した。(例:「お母さんのお手伝いをしている」あるいは「私のお世話をしてくれているのはお母さん」というように質問の意図とは違う意味合いで解釈し、回答しているもの)

令和6年度集計結果

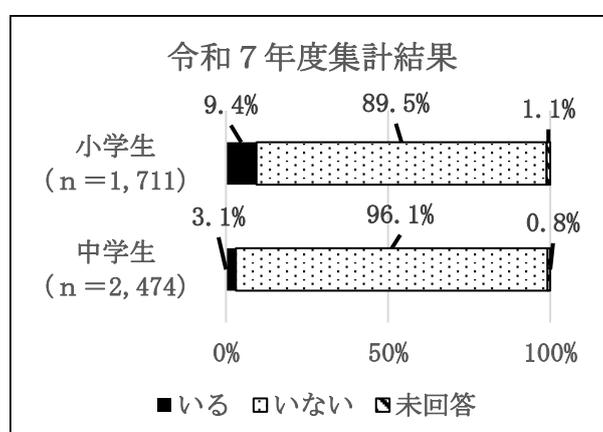
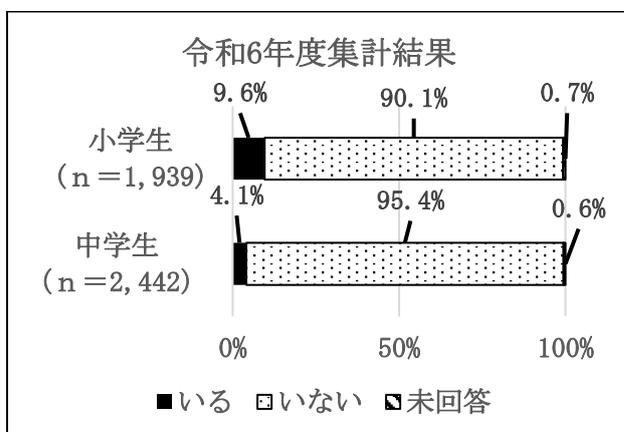
(件)

	小学生	中学生	小中学生
いる	186	99	285
いない	1,741	2,329	4,070
未回答	12	14	26
合計	1,939	2,442	4,381
いる割合	9.6%	4.1%	6.5%

令和7年度集計結果

(件)

	小学生	中学生	小中学生
いる	161	76	237
いない	1,531	2,378	3,909
未回答	19	20	39
合計	1,711	2,474	4,185
いる割合	9.4%	3.1%	5.7%



### (3) お世話を必要としている家族のことや、お世話の悩みを相談した経験の有無

「相談したことがある」小学生は前年度より増加し、中学生は前年度より減少したが、いずれの年度の小中学生も、「相談したことがない」が「相談したことがある」を大きく上回っている。

令和6年度集計結果

(件)

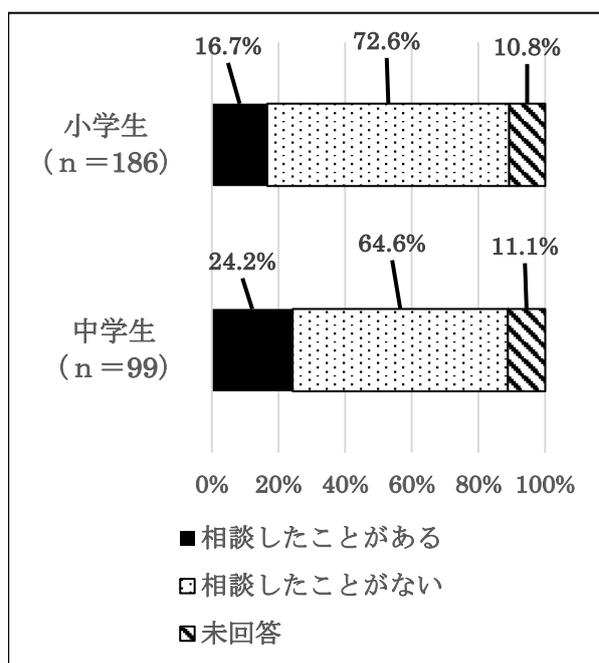
	小学生	中学生
相談したことがある	31	24
相談したことがない	135	64
未回答	20	11

令和7年度集計結果

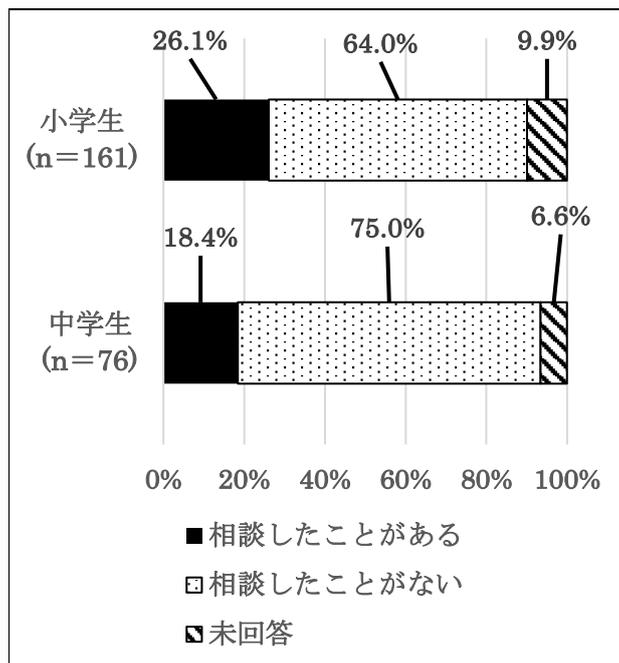
(件)

	小学生	中学生
相談したことがある	42	14
相談したことがない	103	57
未回答	16	5

令和6年度集計結果



令和7年度集計結果



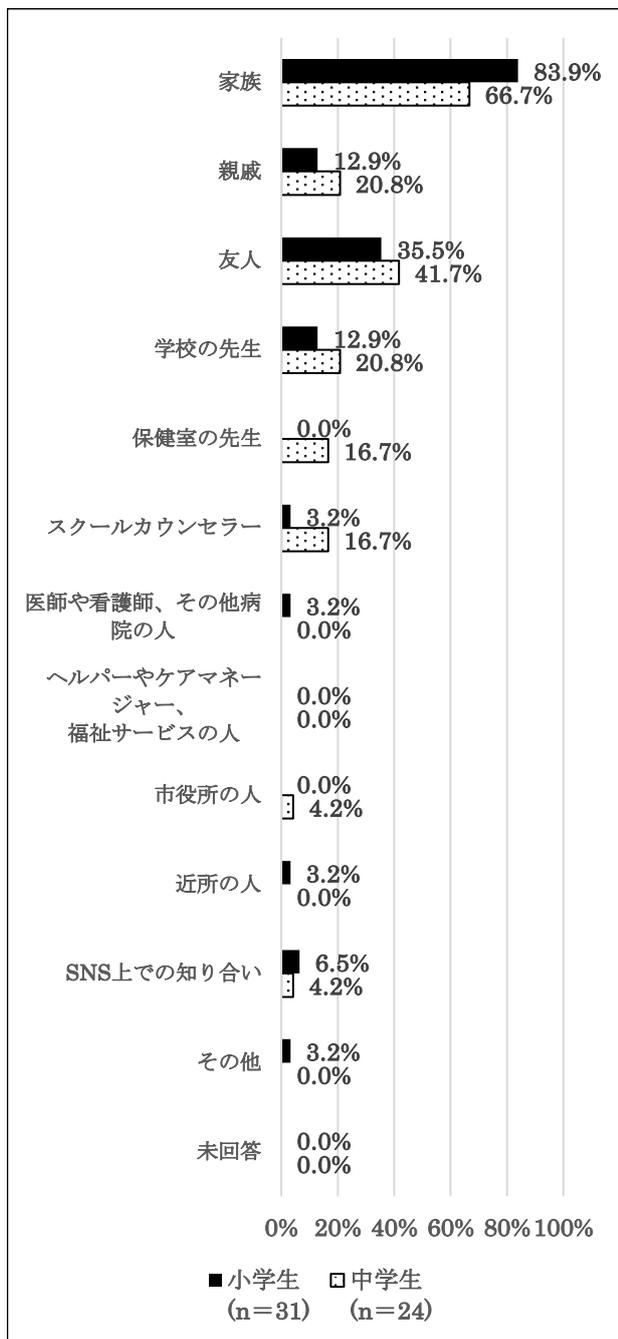
(4) お世話を必要としている家族のことや、お世話の悩みを相談した相手

概ね傾向の変化はなく、相談相手として「家族」「友人」が高い割合になった。

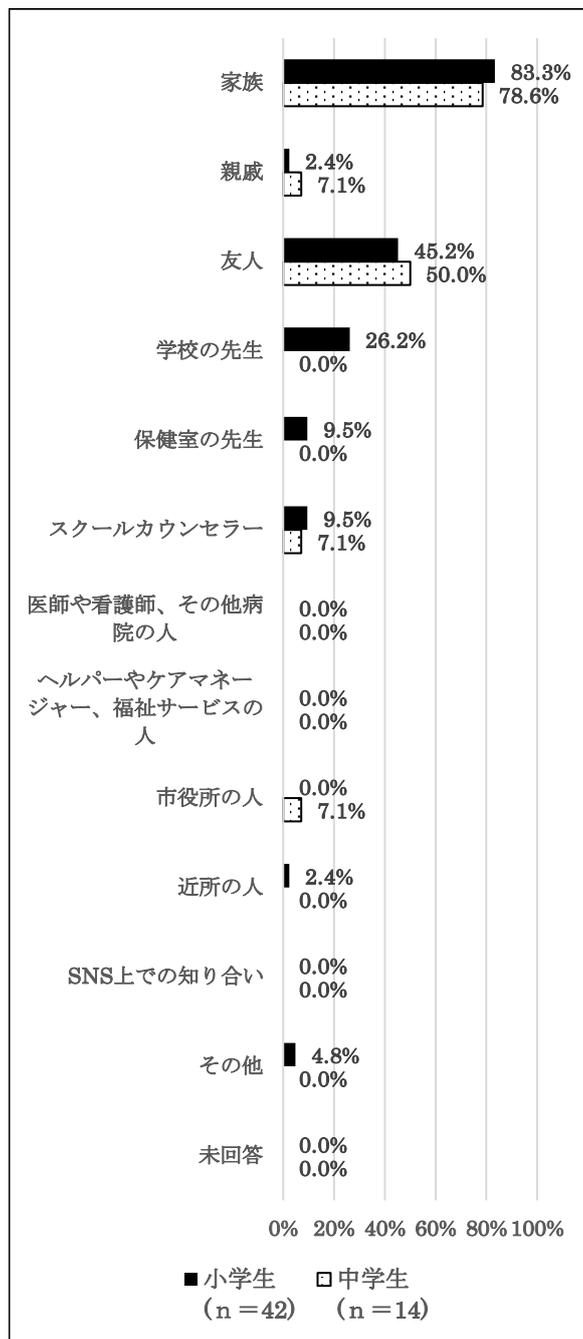
(件)

	令和6年度		令和7年度	
	小学生 (n=31)	中学生 (n=24)	小学生 (n=42)	中学生 (n=14)
家族	26	16	35	11
親戚	4	5	1	1
友人	11	10	19	7
学校の先生	4	5	11	0
保健室の先生	0	4	4	0
スクールカウンセラー	1	4	4	1
医師や看護師、 その他病院の人	1	0	0	0
ヘルパーやケアマネージャー、 福祉サービスの人	0	0	0	0
市役所の人	0	1	0	1
近所の人	1	0	1	0
SNS上での知り合い	2	1	0	0
その他	1	0	2	0
未回答	0	0	0	0

令和6年度集計結果



令和7年度集計結果



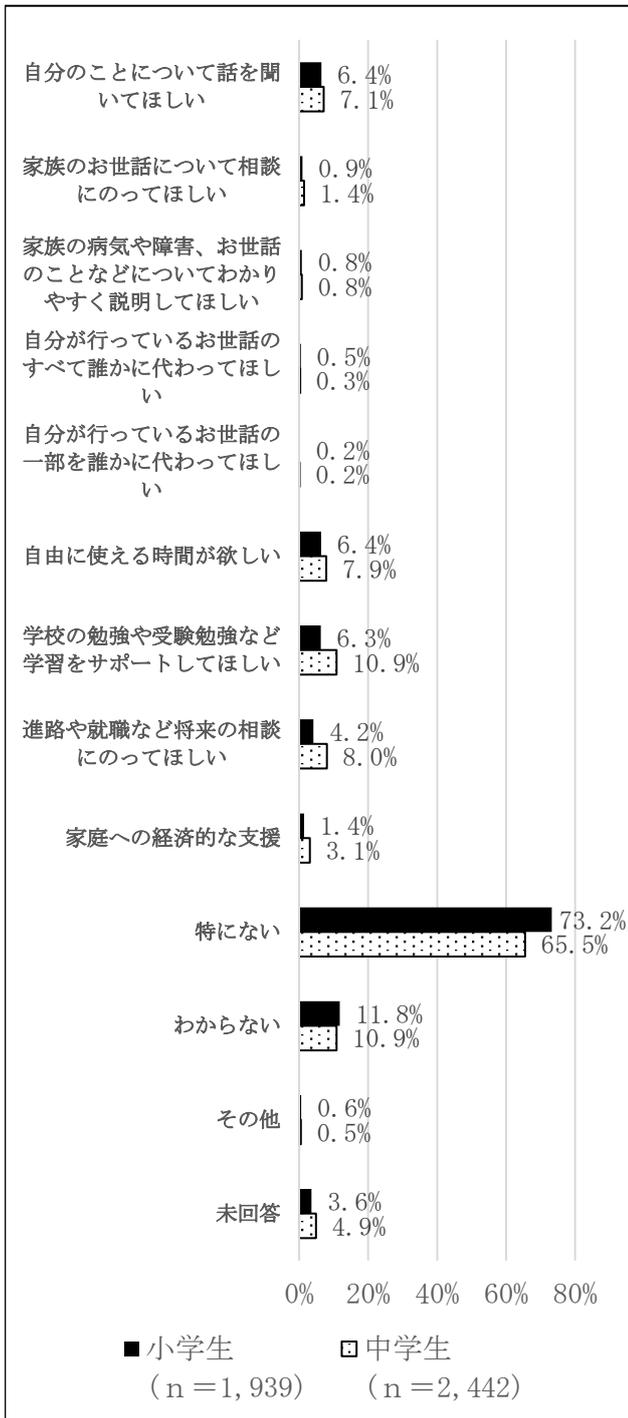
(5) 学校や周りの大人に助けてほしいことや必要としている支援は何か

(件)

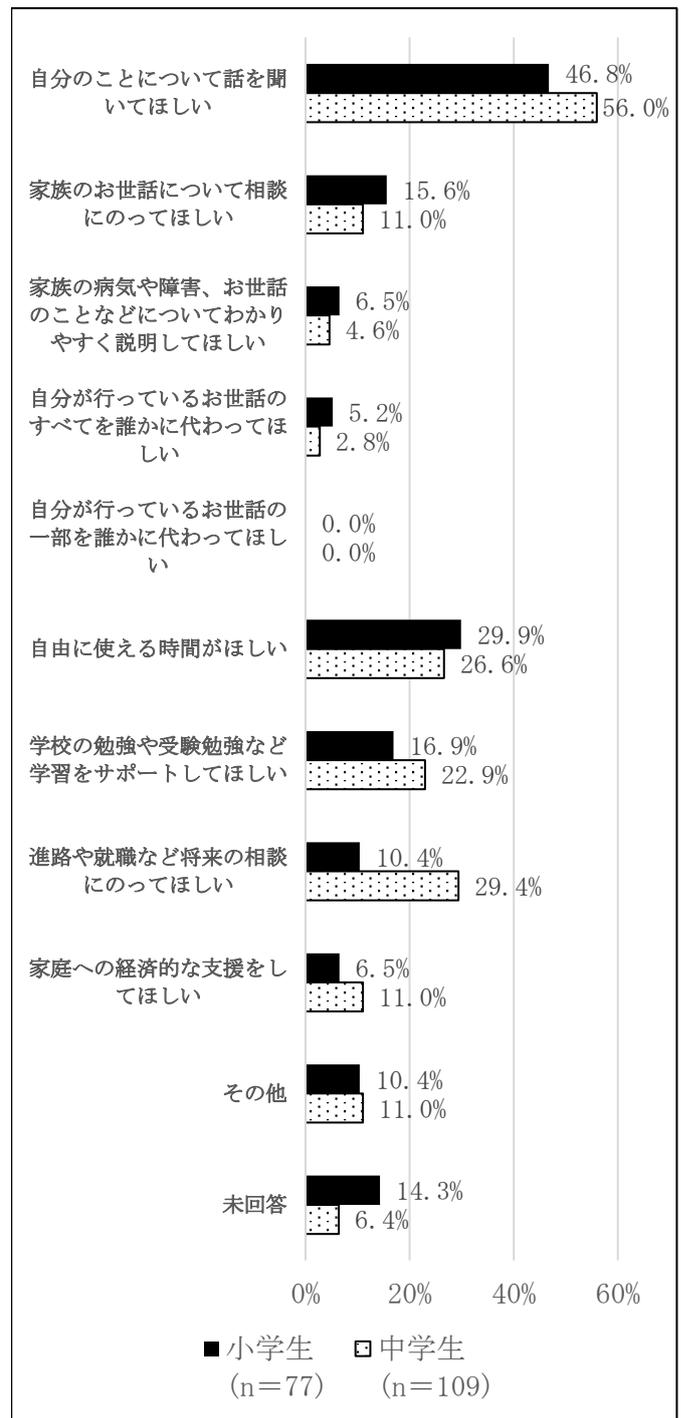
	令和6年度		令和7年度	
	小学生 (n=1,939)	中学生 (n=2,442)	小学生 (n=77)	中学生 (n=109)
自分のことについて話を聞いてほしい	125	174	36	61
家族のお世話について相談にのってほしい	18	34	12	12
家族の病気や障害、お世話のことなどについてわかりやすく説明してほしい	16	20	5	5
自分が行っているお世話のすべてを誰かに代わってほしい	9	7	4	3
自分が行っているお世話の一部を誰かに代わってほしい	4	4	0	0
自由に使える時間がほしい	124	192	23	29
学校の勉強や受験勉強など学習サポートしてほしい	122	265	13	25
進路や就職など将来の相談にのってほしい	81	196	8	32
家庭への経済的な支援をしてほしい	27	76	5	12
特にない	1,420	1,600		
わからない	228	265		
その他	12	12	8	12
未回答	70	119	11	7

※本設問項目において、前年度は全員回答としたが、今年度は、必要としている支援の有無を先に問い、有と回答した小中学生のみが本項目を回答したため、母数が小さくなり回答数に変化が生じた。そのため、前年度との比較が難しいが、支援は求めているものの、「自分のことについて話を聞いてほしい」や「自由に使える時間がほしい」と思う小中学生が存在することがわかった。

令和6年度集計結果

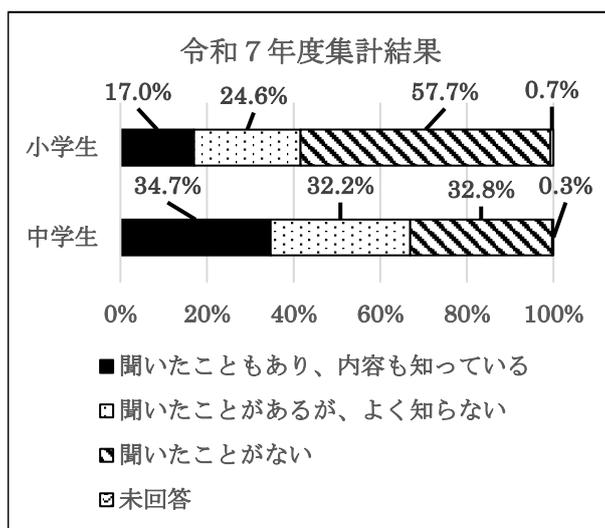
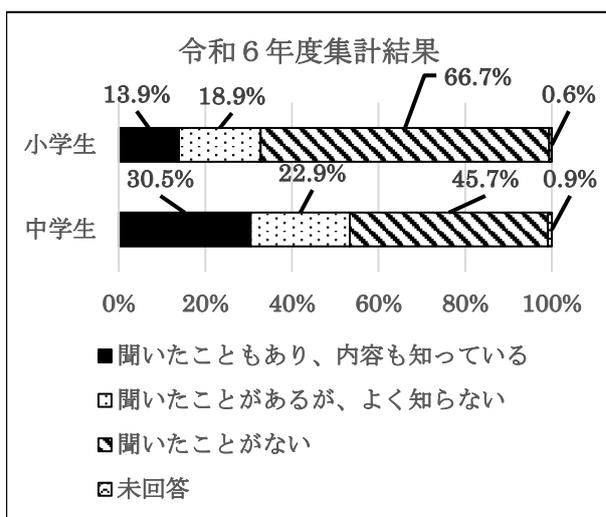


令和7年度集計結果



### (6) ヤングケアラーという言葉と内容に関する認知状況

前年度に引き続き実態調査を実施したことも影響しているのか、前年度よりもヤングケアラーについて「聞いたことがある」と回答した小中学生の割合が前年度よりも高い割合になった。特に、中学生においては、6割以上がヤングケアラーについて「聞いたことがある」と回答しており、34.7%が「聞いたことがあり、内容も知っている」と回答している。



#### 4. 自由記述

##### (1) カテゴリー分類について

「ヤングケアラー支援を広げていくために必要だと思うことや、このアンケートに関する感想」について自由意見を求め、それらの回答のカテゴリー分類を行った。

表1 自由記述回答の全体分類(小学生)【n=1,711】

※ 記述内容が複数のカテゴリーにわたる場合はそれぞれに計上。

No.	カテゴリー分類	n	内容・キーワード
1	周知・啓発	304	ポスター、CM、手紙、チラシ、みんなに知ってもらおう
2	定期的なアンケートの実施	75	アンケート実施、アンケートを続けてほしい
3	相談場所・話せる場所の確保	80	気軽に相談できる場所、環境づくり
4	授業で取り入れる	16	道徳や総合の授業の時間に取り入れる
5	講演会を開く	3	講演会を開く
6	経済的援助・募金活動	60	募金、金銭的援助、国からの支援、補助制度の利用
7	ボランティアの募集	10	ボランティアを雇う、募集する
8	ヤングケアラーについて知ることができた	139	初めてヤングケアラーについて知ることが出来た、学ぶことが出来た
9	アンケートを通して心がすっきりした	16	すっきりした、安心した、心が落ち着いた
10	わからない	77	わからない、知らない
11	識別不可能な回答	2	識別不可能な回答
12	特になし	509	特になし
13	その他・感想	537	アンケートに対する感想・意見等

表2 自由記述回答の全体分類(中学生) 【n=2,474】

※ 記述内容が複数のカテゴリーにわたる場合はそれぞれに計上。

No.	カテゴリー分類	n	内容・キーワード
1	周知・啓発	585	ポスター、CM、手紙、チラシ、みんなに知ってもらう
2	定期的なアンケートの実施	173	アンケート実施、アンケートを続けてほしい
3	相談場所・話せる場所の確保	159	気軽に相談できる場所、環境づくり
4	授業で取り入れる	63	道徳や総合の授業の時間に取り入れる
5	講演会を開く	29	講演会を開く
6	経済的援助・募金活動	150	募金、金銭的援助、国からの支援、補助制度の利用
7	ボランティアの募集	29	ボランティアを雇う、募集する
8	ヤングケアラーについて知ることができた	139	初めてヤングケアラーについて知ることが出来た、学ぶことが出来た
9	アンケートを通して心がすっきりした	9	すっきりした、安心した、心が落ち着いた
10	わからない	68	わからない、知らない
11	識別不可能な回答	6	識別不可能な回答
12	特になし	638	特になし
13	その他・感想	649	アンケートに関する感想・意見等

## (2)自由記述意見のカテゴリー別回答内容

小中学生から自由回答部分に記入された意見等について、原則原文を掲載している。(ただし、回答内の固有名詞や個人的な事等については、削除している。複数カテゴリーの内容を含む回答から、各カテゴリーに対応する部分に対応する部分のみ抜粋して掲載している回答がある。)

※「わからない」「識別不可能な回答」「特になし」は除く。

### ①周知・啓発

#### 【小学生】

テレビやSNS(Youtube、X(旧 Twitter)、TikTok)などに投稿して、世界に広げる。
ポスター作り、街で貼ったり、新聞などで日本中に広げる。
学校などのお便りでヤングケアラーについて知ってもらうことが必要だと思う。
地域の住民に各自治体などがヤングケアラーについて啓発し、知ってもらうことが必要になると思う。

#### 【中学生】

私はあるジャンプ系の漫画のコメント欄でその言葉を知ったので、ヤングケアラーになっているかもしれない年代の人が読みやすい漫画を作れば、周知に周知に繋がると思う。
もし、自分自身がヤングケアラーだったら、大切な家族のためにやっているからそのことが苦しくても自分自身がヤングケアラーになっていることに気づかないと思う。だから、支援を広げていくためには、若者で多く普及している SNS を通して (TikTok 等の広告など) 存在を広げていく。
ポスターや SNS、チラシなどを活用して周知していく。
テレビやインターネットでヤングケアラーについてさらに取り上げるべきだと思う。

## ②定期的なアンケートの実施

### 【小学生】

このアンケートで心がすっきりする人もいると思うのでこれからも続けてほしい。

小学5，6年生がヤングケアラーについて知ることができるのは、とてもいいことだと思う。

定期的にアンケートを行うことは、大切だと思う。

このアンケートを実施することで楽になる人もいると思うので、これからも継続してアンケートを実施してほしい。

### 【中学生】

今後もこのようなアンケートを増やして行ってほしい。

このようなアンケートを実施することは助けに繋がると思うので続けてほしい。

ヤングケアラーの支援を広げていくためには、まず多くの人がヤングケアラーの現状について知ることが大切だと思った。少しでもヤングケアラーを減らしていくためには、こういったアンケートの実施が大切だと思うので、これからもアンケートを実施してほしい。

定期的にアンケートを取り、その人たちの現状について知っていく。

### ③相談場所・話せる場所の確保

#### 【小学生】

「支援をお願いしたいです。」と言えるような環境を作ることが必要だと思う。
相談窓口を多数設置して、気軽に相談することが出来る環境を作る。
どこに相談をすればいいのかわからないと思うので、ポスターやチラシで相談できる場所の周知をして相談しやすい環境を作る。
もっと相談できる人を増やしたりして、相談しやすい環境を整える。

#### 【中学生】

ヤングケアラー相談会などを実施して、だれでも相談できる環境を作る。
気軽に相談することができる場所や機会を増やす。
気軽に相談することができるように、相談できる公式オンラインの開設や公式ラインの存在について周知する。
ヤングケアラーの人が相談しやすい環境を作るように様々な相談手段を設けること。(電話、ライン、SNS サイト等だけではなく無料の相談所を市に設けるなど)

### ④授業で取り入れる

#### 【小学生】

ヤングケアラーについて講演会や授業で取り入れ全国に知ってもらえれば、「自分もあてはまるかも」と気づき、支援が入ればと思う。
ヤングケアラーがどういったものなのか、スライドなどを作り、低学年にも教えていく。
授業でヤングケアラーについての授業をする。
みんなが学校で学べる機会を作してほしい。

#### 【中学生】

ヤングケアラーについての授業を行い、生徒全員がヤングケアラーを知る機会を作る事が必要だと思う。
授業の一環として取り入れる。
学活や総合の授業でヤングケアラーについての講義をする。
ヤングケアラーに関しての本や漫画を作成し、置いて読んでもらう。

⑤講演会を開く

【小学生】

講演会の機会を作り、ヤングケアラーについて知る。

講演会の開催をする。

【中学生】

立川市のそれぞれの学校でヤングケアラーの講演会を実施する。

講演会を開きヤングケアラーの知識を増やす。

⑥経済的援助・募金等

【小学生】

ユニセフ募金みたいにヤングケアラー募金をする。

社会保険制度の充実。

【中学生】

国などからの補助金や支援金の支給。

募金活動をして支援が必要な世帯に届ける。

⑦ボランティアの募集

【小学生】

ヤングケアラーをサポートしてくれるようなボランティアを作る。

【中学生】

ヤングケアラーの方を支援するボランティアなどを作る。

⑧ヤングケアラーについて知ることが出来た

【小学生】

ヤングケアラーは、このアンケートで自分は初めて知ったんで、ヤングケアラーをもっとみんなに知ってもらえば、支援が広がると思いました。

【中学生】

今回のアンケートを通して、ヤングケアラーについて理解することができた。

⑨アンケートを通して心がすっきりした

【小学生】

幸いなことにアンケートを通じて心がすっきりした。

【中学生】

自分の現状について振り返ることが出来て、安心しました。

⑩その他・感想

【小学生】

自分の周りにヤングケアラー人がいたら助けてあげたい。

家族を助けながら長い時間働いている人の働く時間を少し減らす。

介護施設を作る。

【中学生】

一人一人が他人事ではなく、自分ごとにして考える。

もっとその人に寄り添うようにする。

みんなが必要としている先生が話を聞いてあげる。

## 第 3 章

### 分析

## (1) 実態把握分析

### 【家族のお世話をしている小中学生の状況】

家族のお世話をしていると回答している小中学生は、小学生 161 人(9.4%)・中学生 76 人(3.1%)であった。全国調査である令和 2 年度子ども・子育て推進法研究事業「ヤングケアラーの定義に関する調査事業報告書」による中学 2 年生、5.7%と比較し、大きな差なく、本市においても前年度に引き続き支援の必要な小中学生がいると考えられる。

調査票・回答フォームの中で「ここでいうお世話とは、ふつう大人が行うような家事や家族のお世話などを、あなたが代わってすることです」との説明や東京都が提示しているヤングケアラーに関するイラストを入れたが、比較的軽いお手伝いも含めてお世話をしていると回答している小中学生が昨年引き続き一定数いることが想定される。この調査は、定点観測的に経年で変化を見ていくことを目指していることを考慮しながらも、調査結果の精度をあげていく為に、質問方法の更なる工夫が求められる。

## (2) 自己認識と認知度分析

### 【ヤングケアラーの自己認識と認知度】

ヤングケアラーという言葉や概念の認知については、前年度よりも上がったものの、更なる認知と理解度を高めるためには、周知についての課題が生じている。

ヤングケアラーの自己認識については、家族のお世話がある小中学生は「あてはまる」と回答している割合が高かったほか、「わからない」とする回答割合も高かった。小中学生が行っている、家の手伝いや兄弟の面倒をみていることを一定評価し、その割合が増えていくことを喜びながらも、一方でヤングケアラーの定義に含まれる「過度なお世話」がもたらす小中学生への影響とはどういうものかという具体的な理解が進む普及啓発が必要と考えられる。

## (3) お世話の影響分析

### 【家族のお世話をすることによる影響】

一日あたりのお世話に費やす時間については、「1 時間未満」が多いことは変わらないが、平日と平日以外の時間を比較すると、平日以外の方がお世話に費やす時間が長いことがわかった。家族のお世話がある場合、特に中学生においては、「自分のために使える時間が少ない」と回答する割合が高く、「学業や成績のこと」「部活動やクラブ活動のこと」などの困りごとを訴えている。また、小中学生ともに、「自分と家族との関係のこと」について悩みがある。小学生と中学生とでは、困りごとの内容に差異が見られ、成長発達に応じて求められる役割が変化することがうかがえる。特にお世話をしていることで、学校生活等に影響が出ていることがあ

り、欠席、遅刻早退、授業中の居眠り、宿題や課題への取組状況や忘れ物、提出物等の提出状況などで、その兆候を捉えることができるものと考えられる。教員や市職員など、小中学生に接する大人の気づきの感度を高める必要がある。

#### (4) 支援ニーズ分析

##### 【相談状況と支援ニーズ】

家族のお世話をしていると回答した小中学生の悩みの相談については、「相談したことがない」と回答した割合が高くなった。相談していない理由については、「相談するほどの悩みではないから」という回答が小学生 68.0%・中学生 82.5%と高かった。また、「相談しても何も変わらないから」「家族のことを話したくないから」「誰に相談するのがよいかわからないから」と回答する小中学生も一定数いることがわかった。「相談したことがある」と回答した小中学生に相談相手についてたずねたところ、「家族」が最も多く、次いで「友人」となった。

また、お世話をしている小中学生に対して必要とする支援についてたずねたところ「自分のことについて話を聞いてほしい」と回答する割合が最も高くなった。このことから、お世話をしている小中学生に対して信頼できる身近な大人が本人の話聞くことができる機会を設けることが重要であることがわかる。また、その後、本人の承諾を得つつ適切な支援機関につなげていくことができる体制や運用も重要である。

なお、相談方法としては前年度に引き続き、小中学生ともに「直接会って」、「電話」と回答する割合が高く、次いで、中学生では日常生活でスマートフォンを利用する頻度が高くなることが影響しているのか「SNSでの相談」や「電子メール」という回答の割合も高くなっているが、これはお世話がない中学生の回答割合の方が高かった。お世話がある小中学生は、直接会って相談することを希望することが多く、対面での相談が効果的であると考えられる。

#### (5) 前年度との比較

前年度と比較して概ね傾向の変化は見られなかったが、ヤングケアラーの認知度については変化が見られた。ヤングケアラーという言葉の定義については、引き続き調査を行ったことが影響しているのか、前年度よりも認知度が高い。

回収率については、小学生が低下した影響で全体として若干下がることとなった。未回答の中にも多くのヤングケアラーがいることが考えられるため、回収率を上げていくための手法を今後検討する。

第 4 章  
質問項目

## 1.小学生向け質問項目

### 立川市子どもの生活実態に関するアンケート（ヤングケアラー実態調査）

（小学5・6年生用）

【アンケートに答える皆さまへ】

- これは立川市の子どもたちのふだんの生活や困りごと、特に、家族のお世話の状況などをお聞きし、どのような支援があった方がよいか考えるためのアンケートです。
- みなさんの答えの一つひとつが大切な意見です。ぜひご協力をお願いします。
- このアンケートはあなたが自分で答えてください。だれかに相談して答える必要はありません。
- 答えが思いつかない場合や、答えたくない質問は、とばして次の質問に進んでください。
- 自分の思う答えを入力してください。まちがった答えや、正しい答えはありません。
- 答えを選ぶ時、○はあてはまるもの1つを選択、□はあてはまるものすべてを選択してください。その他は自由に具体的な内容を入力してください。人数や年数など数字を入力する答えもあります。
- このアンケートで個人を調査したり、家族に連絡がいくことはありません。
- このアンケートは、一時保存ができません。ご回答を途中で中断される場合は、保存されませんので、最後までご回答いただくか、改めて初めからご回答をお願いいたします。なお、ご回答は1人1回限りでお願いいたします。
- アンケートに答えるには、10分から20分くらいかかります。

① あなたのことについて教えてください。

問1 あなたの性別を教えてください。（あてはまるもの1つを選択してください）

- 男性                       女性                       答えたくない

問2 あなたの学校を教えてください。（あてはまるもの1つを選択してください）

- 第一小学校                       第八小学校                       大山小学校  
 第二小学校                       第九小学校                       柏小学校  
 第三小学校                       第十小学校                       上砂川小学校  
 第四小学校                       西砂小学校                       新生小学校  
 第五小学校                       南砂小学校                       若葉台小学校  
 第六小学校                       幸小学校  
 第七小学校                       松中小学校

問3 あなたの学年を教えてください。（あてはまるもの1つを選択してください）

- 小学5年生                       小学6年生

問4 あなたのクラスを教えてください。（あてはまるもの1つを選択してください）

- 1組                       あおぞら                       ひまわり  
 2組                       こだま                       たんぽぽ  
 3組                       くわのみ                       さくら  
 4組                       すずかけ                       にじいろ  
 5組                       まつのみ

問5 現在一緒に住んでいる家族について教えてください。

（あてはまるものすべてを選択してください、（ ）内は人数を入力してください）

- お父さん                       お母さん                       兄（ ）人  
 姉（ ）人                       弟（ ）人                       妹（ ）人  
 おじいちゃん（ ）人       おばあちゃん（ ）人       親戚（ ）人  
 その他（ ）人

問6 あなたの健康状態について教えてください。

（あてはまるもの1つを選択してください）

- よい                       ふつう                       よくない  
 まあよい                       あまりよくない

② 普段の生活について教えてください。

問7 学校への出席状況について教えてください。

(あてはまるもの1つを選択してください)

- ほとんど出席している
- たまに欠席する(月に1、2回程度)
- よく欠席する(週に2、3回以上)

問8 学校への遅刻や早退の状況について教えてください。

(あてはまるもの1つを選択してください)

- ほとんどしない
- たまにする(月に1、2回程度)
- よくする(週に2、3回以上)

問9 塾や習い事などをしていませんか。

(あてはまるもの1つを選択してください)

- はい
- いいえ

問10 ふだんの学校生活において、以下の中であてはまるものはありますか。

(あてはまるものすべてを選択してください)

- 授業中に寝てしまうことが多い
- 宿題や課題が出来ていないことが多い
- 持ち物の忘れ物が多い
- 学校では1人で過ごすことが多い
- 保健室で過ごすことが多い
- 塾や習い事を休むことが多い
- 友人と遊んだり、おしゃべりする時間が少ない
- 提出物を出すのが遅れてしまうことが多い
- 特にない
- その他

問11 現在、悩んだり困ったりしていることはありますか。

(あてはまるもの1つを選択してください)

- ある
- ない

問12 現在、悩んだり困っていることは何ですか。

(あてはまるものすべてを選択してください)

- 友人との関係のこと
- 学業や成績のこと
- 進路のこと
- 自分と家族との関係のこと
- 塾や習い事のこと
- 病気や障害のある家族のこと
- 自分以外の家族内の関係のこと
- 学費(授業料)などを含む、家庭内の経済的状況のこと
- 修学旅行などの宿泊行事を家族のお世話を理由に参加できない
- 自分のために使える時間が少ない
- その他( )

③ 家族や家庭のことについて教えてください。

問13 家族の中にあなたがお世話をしている人はいますか。

(あてはまるもの1つを選択してください)

- いる
- いない

※ここでいう「お世話」とは、ふつう大人が行うような家事や家族のお世話などを、あなたが代わってすることです。

あなたがお世話をしている相手について、教えてください。2人以上いる場合は、それぞれにお答えください。

(3人分入力できます。大変だと思ふ人を入力してください。)

問13-1 あなたがお世話をしている人数は何人ですか。

\_\_\_\_\_人

問13-2 あなたがお世話をしている相手の関係性を教えてください。

(あてはまるもの1つを選択してください)

- お父さん
- お母さん
- 兄
- 姉
- 弟
- 妹
- おじいちゃん
- おばあちゃん
- 親戚
- その他

問13-3 あなたが世話をしている相手の状況について、教えてください。

(あてはまるものすべてを選択してください)

- 高齢(65歳以上)
- 介護が必要
- 認知症
- 病気
- 身体障害
- 知的障害
- 精神障害
- 発達障害
- 依存症(アルコール・ギャンブル等)
- 若い(小さい)
- 日本語が苦手
- わからない
- その他( )

問13-4 あなたはどのようなお世話をしていますか。

(あてはまるものすべてを選択してください)

- 食事の準備
- 掃除
- 洗濯
- 入浴のお世話
- トイレのお世話
- オムツ交換などのお世話
- 食事のお世話
- 衣服の脱ぎ着などのお世話
- 通院のつきそい
- 薬の管理(薬を飲んだか確かめるなど)
- 一人で外出が難しい家族のつきそい
- 心配で目が離せない家族の見守りや声かけ
- 感情面のサポート(ぐちを聞く、話し相手になるなど)
- 家庭のお金の管理(請求書の支払い、銀行等でのお金の出し入れ)
- きょうだいの世話など
- 通訳(日本語や手話など、書類などの代筆)
- その他( )

問14 あなた以外に家族のお世話をしている人はいますか。

(あてはまるもの1つを選択してください)

- いる
- いない

問14-1 (「いる」と回答した方へ質問) あなた以外に家族のお世話をしている人は誰ですか(あてはまるものすべてを選択してください)

- お父さん                       お母さん                       兄
- 姉                                   弟                                   妹
- おじいちゃん                   おばあちゃん                   親戚
- 福祉サービスの人(ヘルパーなど)                   その他( )

問15 お世話はいつから行っていますか。お世話を始めたあなたの年齢を教えてください。

(あてはまるもの1つを選択してください)

- 10歳より前                       10歳~12歳

問16 あなたはどのくらいお世話をしていますか。

(あてはまるもの1つを選択してください)

- ほぼ毎日                       週に1~2日                       その他( )
- 週に3~5日                       1か月に数日

問17 あなたは平日に1日何時間くらいお世話をしていますか。

(あてはまるもの1つを選択してください)

- 1時間未満                       3~5時間
- 1~3時間                       5時間以上

問18 あなたは平日以外の日（土曜日、日曜日、祝日など）に1日何時間くらいお世話をしていますか。

（あてはまるもの1つを選択してください）

- 1時間未満                       3～5時間  
 1～3時間                         5時間以上

問19 お世話をしていることで、やりたいことや、すべきことができなかつたことはありますか。

（あてはまるもの1つを選択してください）

- ある  
 ない

問20 お世話をしていることで、以下のような経験をしたことがありますか。

（あてはまるものすべてを選択してください）

- 学校を休んでしまう                       遅刻や早退をしてしまう  
 宿題など勉強をする時間がない                       眠る時間が足りない  
 友だちと遊ぶことができない                       自分の時間が取れない  
 塾や習い事ができない                       その他（                      ）  
 将来や進路のことが考えられない、もしくは自分の希望が伝えられない

問21 あなたは家族のお世話をすることに大変さを感じていますか。

（あてはまるものとすべてを選択してください）

- 身体的に大変                                       精神的に大変  
 時間的に余裕がない                                       特に大変さは感じていない

問22 お世話を必要としている家族のことや、お世話の悩みを誰かに相談したことはありますか。（あてはまるもの1つを選択してください）

- 相談したことがある  
 相談したことがない

問22-1 （「相談したことがある」と答えた方へ質問）相談した人は誰ですか。

（あてはまるものすべてを選択してください）

- 家族     親戚  
 友人     学校の先生  
 保健室の先生     スクールカウンセラー  
 医師や看護師、その他病院の人     近所の人  
 ヘルパーやケアマネージャー、福祉サービスの人  
 市役所の人     SNS上での知り合い  
 その他（    ）

問22-2 (「相談したことがない」と答えた方へ質問) 相談していない理由を教えてください。(あてはまるものすべてを選択してください)

- 相談するほどの悩みではないから
- 家族のことを話したくないから
- 誰に相談するのがよいかわからないから
- 相談できる人がいないから
- 相談しても何も変わらないから
- その他( )

問23 学校や周りの大人に助けてほしいことや、必要としている支援はありますか。(あてはまるもの1つを選択してください)

- ある
- ない

問24 学校や周りの大人に助けてほしいことや、必要としている支援はありますか(あてはまるものすべてを選択してください)

- 自分のことについて話を聞いてほしい
- 家族のお世話について相談にのってほしい
- 家族の病気や障害、お世話のことなどについてわかりやすく説明してほしい
- 自分が行なっているお世話のすべてを誰かに代わってほしい
- 自分が行なっているお世話の一部を誰かに代わってほしい  
⇒具体的にどんなお世話、どんな時ですか( )
- 自由に使える時間がほしい
- 学校の勉強や受験勉強など学習をサポートしてほしい
- 進路や就職など将来の相談にのってほしい
- 家庭への経済的な支援をしてほしい
- その他( )

問25 あなたはどのような方法で話を聞いたり相談にのってほしいですか。(あてはまるものすべてを選択してください)

- 直接会って
- 電話
- SNS
- 電子メール
- その他( )

④ ヤングケアラーについて教えてください。

ヤングケアラーとは、「家族の介護その他の日常生活上の世話を過度に行っているとされる子ども・若者」のことをいいます。



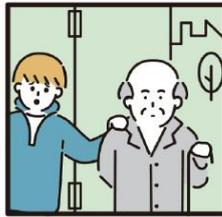
障がいや病気のある家族に代わり、買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をしている。



家族に代わり、幼いきょうだいの世話をしている。



障がいや病気のあるきょうだいの世話や見守りをしている。



目の離せない家族の見守りや声かけなどの気づかいをしている。



日本語が第一言語でない家族や障がいのある家族のために通訳をしている。



家計を支えるために労働をして、障がいや病気のある家族を助けている。



アルコール・薬物・ギャンブル問題を抱える家族に対応している。



がん・難病・精神疾患など慢性的な病気の家族の看病をしている。



障がいや病気のある家族の身の回りの世話をしている。



障がいや病気のある家族の入浴やトイレの介助をしている。

問26 ヤングケアラーという言葉をごらまでに聞いたことがありましたか。

(あてはまるもの1つを選択してください)

- 聞いたことがあり、内容も知っている
- 聞いたことはあるが、よく知らない
- 聞いたことはない

問27 あなた自身は「ヤングケアラー」にあてはまると思えますか。

(あてはまるもの1つを選択してください)

- あてはまる
- あてはまらない
- わからない

問28 ヤングケアラーへの支援を広げていくために必要だと思うことや、このアンケートに関する感想をご入力ください。

アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

## 2.中学生向け質問項目

### 立川市子どもの生活実態に関するアンケート（ヤングケアラー実態調査）

（中学1・2・3年生用）

【アンケートに答える皆さまへ】

●これは立川市の子どもたちのふだんの生活や困りごと、特に、家族のお世話の状況などをお聞きし、どのような支援があった方がよいか考えるためのアンケートです。

●みなさんの答えの一つひとつが大切な意見です。ぜひご協力をお願いします。

●このアンケートはあなたが自分で答えてください。だれかに相談して答える必要はありません。

●答えが思いつかない場合や、答えたくない質問は、とばして次の質問に進んでください。

●自分の思う答えを入力してください。まちがった答えや、正しい答えはありません。

●答えを選ぶ時、○はあてはまるもの1つを選択、□はあてはまるものすべてを選択してください。その他は自由に具体的な内容を入力してください。人数や年数など数字を入力する答えもあります。

●このアンケートで個人を調査したり、家族に連絡がいくことはありません。

●このアンケートは、一時保存ができません。ご回答を途中で中断される場合は、保存されませんので、最後までご回答いただくか、改めて初めからご回答をお願いいたします。なお、ご回答は1人1回限りでお願いいたします。

●アンケートに答えるには、10分から20分くらいかかります。

① あなたのことについて教えてください。

問1 あなたの性別を教えてください。（あてはまるもの1つを選択してください）

- 男性                       女性                       答えたくない

問2 あなたの学校を教えてください。（あてはまるもの1つを選択してください）

- 第一中学校               第四中学校               第七中学校  
 第二中学校               第五中学校               第八中学校  
 第三中学校               第六中学校               第九中学校

問3 あなたの学年を教えてください。（あてはまるもの1つを選択してください）

- 中学1年生               中学2年生               中学3年生

問4 あなたのクラスを教えてください。（あてはまるもの1つを選択してください）

- 1組またはA組               4組またはD組               I（アイ）組  
 2組またはB組               5組またはE組               1（いち）組  
 3組またはC組               6組またはF組               10組

問5 現在一緒に住んでいる家族について教えてください。

（あてはまるものすべてを選択してください、（ ）内は人数を入力してください）

- 父                       母                       兄（ ）人  
 姉（ ）人               弟（ ）人               妹（ ）人  
 祖父（ ）人               祖母（ ）人               親戚（ ）人  
 その他（ ）人

問6 あなたの健康状態について教えてください。

（あてはまるもの1つを選択してください）

- よい                       ふつう                       よくない  
 まあよい                       あまりよくない

② 普段の生活について教えてください。

問7 学校への出席状況について教えてください。

(あてはまるもの1つを選択してください)

- ほとんど出席している
- たまに欠席する(月に1、2回程度)
- よく欠席する(週に2、3回以上)

問8 学校への遅刻や早退の状況について教えてください。

(あてはまるもの1つを選択してください)

- ほとんどしない
- たまにする(月に1、2回程度)
- よくする(週に2、3回以上)

問9 部活動やクラブ活動、塾習い事などに参加していますか。

(あてはまるもの1つを選択してください)

- はい
- いいえ

問10 ぶだんの学校生活において、以下の中であてはまるものはありますか。

(あてはまるものすべてを選択してください)

- 授業中に寝てしまうことが多い
- 宿題や課題が出来ていないことが多い
- 持ち物の忘れ物が多い
- 学校では1人で過ごすことが多い
- 保健室で過ごすことが多い
- 部活動やクラブ活動、塾や習い事を休むことが多い
- 塾や習い事を休むことが多い
- 友人と遊んだり、おしゃべりする時間が少ない
- 提出物を出すのが遅れてしまうことが多い
- 特にない
- その他

問11 現在、悩んだり困ったりしていることはありますか。

(あてはまるものを1つ選択してください)

- ある
- ない

問12 現在、悩んだり困っていることは何ですか。

(あてはまるものすべてを選択してください)

- 友人との関係のこと
- 学業や成績のこと
- 進路のこと
- 部活動やクラブ活動のこと
- 塾や習い事のこと
- 自分と家族との関係のこと
- 自分以外の家族内の関係のこと
- 病気や障害のある家族のこと
- 学費(授業料)などを含む、家庭内の経済的状況のこと
- 修学旅行などの宿泊行事を家族のお世話を理由に参加できない
- 自分のために使える時間が少ない
- その他( )

③ 家族や家庭のことについて教えてください。

問13 家族の中にあなたがお世話をしている人はいますか。

(あてはまるもの1つを選択してください)

- いる
- いない

※ここでいう「お世話」とは、ふつう大人が行うような家事や家族のお世話をすることです。あなたがお世話をしている相手について、教えてください。2人以上いる場合は、それぞれにお答えください。

(3人分入力できます。大変だと思う人を入力してください。)

問13-1 あなたがお世話をしている人数は何人ですか。

\_\_\_\_\_人

問13-2 あなたがお世話をしている相手の関係性を教えてください。

(あてはまるもの1つを選択してください)

- 父
- 母
- 兄
- 姉
- 弟
- 妹
- 祖父
- 祖母
- 親戚
- その他( )

問13-3 あなたが世話をしている相手の状況について、教えてください。

(あてはまるものすべてを選択してください)

- 高齢(65歳以上)
- 介護が必要
- 認知症
- 病気
- 身体障害
- 知的障害
- 精神障害
- 発達障害
- 依存症(アルコール・ギャンブル等)
- 若い(小さい)
- 日本語が苦手
- わからない
- その他( )

問13-4 あなたはどのようなお世話をしていますか。

(あてはまるものすべてを選択してください)

- 食事の準備
- 掃除
- 洗濯
- 入浴のお世話
- トイレのお世話
- オツム交換などのお世話
- 食事のお世話
- 衣服の脱ぎ着などのお世話
- 通院のつきそい
- 薬の管理(薬を飲んだか確かめるなど)
- 一人で外出が難しい家族のつきそい
- 心配で目が離せない家族の見守りや声かけ
- 感情面のサポート(ぐちを聞く、話し相手になるなど)
- 家庭のお金の管理(請求書の支払い、銀行等でのお金の出し入れ)
- きょうだいの世話など
- 保育園への送り迎え
- 通訳(日本語や手話など、書類などの代筆)
- その他( )

問14 あなた以外に家族のお世話をしている人はいますか。

(あてはまるもの1つを選択してください)

- いる
- いない

問14-1 (「いる」と回答した方へ質問) あなた以外に家族のお世話をしている人は誰ですか(あてはまるものすべてを選択してください)

- 父
- 母
- 兄
- 姉
- 弟
- 妹
- 祖父
- 祖母
- 親戚
- 福祉サービスの人(ヘルパーなど)
- その他( )

問15 お世話はいつから行っていますか。お世話を始めたあなたの年齢を教えてください。

(あてはまるもの1つを選択してください)

- 10歳より前
- 10歳~12歳
- 13歳~

問16 あなたはどのくらいお世話をしていますか。

(あてはまるもの1つを選択してください)

- ほぼ毎日
- 週に1~2日
- その他( )
- 週に3~5日
- 1か月に数日

問17 あなたは平日に1日何時間くらいお世話をしていますか。

(あてはまるもの1つを選択してください)

- 1時間未満
- 3~5時間
- 1~3時間
- 5時間以上

問18 あなたは平日以外の日（土曜日、日曜日、祝日など）に1日何時間くらいお世話をしていますか。

（あてはまるもの1つを選択してください）

- 1時間未満                       3～5時間  
 1～3時間                         5時間以上

問19 お世話をしていることで、やりたいことやすべきことができなかったことはありますか。

（あてはまるものを1つ選択してください）

- ある                       ない

問20 お世話をしていることで、以下のような経験をしたことがありますか。

（あてはまるものすべてを選択してください）

- 学校を休んでしまう                       遅刻や早退をしてしまう  
 宿題など勉強をする時間がない                       眠る時間が足りない  
 友だちと遊ぶことができない                       部活動・クラブ活動ができない  
 塾や習い事ができない                       自分の時間が取れない  
 将来や進路のことが考えられない、もしくは自分の希望が伝えられない  
 その他（                      ）

問21 あなたは家族のお世話をすることに大変さを感じていますか。

（あてはまるものとすべてを選択してください）

- 身体的に大変                       精神的に大変  
 時間的に余裕がない                       特に大変さは感じていない

問22 お世話を必要としている家族のことや、お世話の悩みを誰かに相談したことはありますか。（あてはまるもの1つを選択してください）

- 相談したことがある  
 相談したことがない

問22-1 （「相談したことがある」と答えた方へ質問）相談した人は誰ですか。

（あてはまるものすべてを選択してください）

- 家族                                       親戚  
 友人                                       学校の先生  
 保健室の先生                                       スクールカウンセラー  
 医師や看護師、その他病院の人                                       近所の人  
 ヘルパーやケアマネージャー、福祉サービスの人  
 市役所の人                                       SNS上での知り合い  
 その他（                                      ）

問22-2 (「相談したことがない」と答えた方へ質問) 相談していない理由を教えてください。(あてはまるものすべてを選択してください)

- 相談するほどの悩みではないから
- 家族のことを話したくないから
- 誰に相談するのがよいかわからないから
- 相談できる人がいないから
- その他 ( )

問23 学校や周りの大人に助けてほしいことや、必要としている支援はありますか。(あてはまるもの1つを選択してください)

- ある
- ない

問24 学校や周りの大人に助けてほしいことや、必要としている支援はありますか(あてはまるものすべてを選択してください)

- 自分のことについて話を聞いてほしい
- 家族のお世話について相談にのってほしい
- 家族の病気や障害、お世話のことなどについてわかりやすく説明してほしい
- 自分が行なっているお世話のすべてを誰かに代わってほしい
- 自分が行なっているお世話の一部を誰かに代わってほしい  
⇒具体的にどんなお世話、どんな時ですか ( )
- 自由に使える時間がほしい
- 学校の勉強や受験勉強など学習をサポートしてほしい
- 進路や就職など将来の相談にのってほしい
- 家庭への経済的な支援をしてほしい
- その他 ( )

問25 あなたはどのような方法で話を聞いたり相談にのってほしいですか。(あてはまるものすべてを選択してください)

- 直接会って
- 電話
- SNS
- 電子メール
- その他 ( )

④ ヤングケアラーについて教えてください。

ヤングケアラーとは、「家族の介護その他の日常生活上の世話を過度に行っているとされる子ども・若者」のことをいいます。



障がいや病気のある家族に代わり、買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をしている。



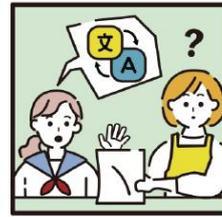
家族に代わり、幼いきょうだいの世話をしている。



障がいや病気のあるきょうだいの世話や見守りをしている。



目の離せない家族の見守りや声かけなどの気づかいをしている。



日本語が第一言語でない家族や障がいのある家族のために通訳をしている。



家計を支えるために労働をして、障がいや病気のある家族を助けている。



アルコール・薬物・ギャンブル問題を抱える家族に対応している。



がん・難病・精神疾患など慢性的な病気の家族の看病をしている。



障がいや病気のある家族の身の回りの世話をしている。



障がいや病気のある家族の入浴やトイレの介助をしている。

問26 ヤングケアラーという言葉をごらまでに聞いたことがありますか。

(あてはまるもの1つを選択してください)

- 聞いたことがあり、内容も知っている
- 聞いたことはあるが、よく知らない
- 聞いたことはない

問27 あなた自身は「ヤングケアラー」にあてはまると思いますか。

(あてはまるもの1つを選択してください)

- あてはまる
- あてはまらない
- わからない

問28 ヤングケアラーへの支援を広げていくために必要だと思うことや、このアンケートに関する感想をご入力ください。

アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。